

SEPTENI

2020年9月期

第2四半期 決算説明会

株式会社セプテーニ・ホールディングス

www.septeni-holdings.co.jp

2020年4月28日

- 01 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴う経営環境の変化について**
- 02 2020/9期 2Q累計期間連結決算概要**
- 03 四半期連結決算概要**
- 04 デジタルマーケティング事業**
- 05 メディアプラットフォーム事業**
- 06 業績予想修正**
- 07 補足資料**

2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております。

従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております。
ネットマーケティング事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります。

事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております。

Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です。

本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております。

01

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴う
経営環境の変化について

上期業績への影響

- 上期決算は順調、各事業セグメントとも期初計画どおりに推移
- 3月に入った段階でCOVID-19の影響により広告需要に減少傾向
- 4月の緊急事態宣言以降、減速が本格化

⇒ 上期の決算においては営業利益ベースのマイナス影響は軽微

(3月影響額：Non-GAAP営業利益▲約0.5億円)

うちデジタルマーケティング事業：約0.4億円、メディアプラットフォーム事業：約0.1億円

下期の見通し

- 4月の状況を踏まえ、下期における経営環境について、COVID-19の影響が当期末（2020年9月末）まで続くことを前提に保守的に見直し

⇒ 下期6ヶ月間における影響幅を、現時点では売上高ベースで計画比マイナス20%程度と想定

(影響額：売上▲98億円、収益▲20億円、Non-GAAP営業利益▲14億円、当期利益▲8億円)

各事業セグメントごとの影響

	デジタルマーケティング事業	メディアプラットフォーム事業
—	広告需要の減少（オフライン業態広告主の活動低下、大手広告主の広告費削減）	メディア事業における広告収益の減少
+	デジタル・トランスフォーメーション（DX）の加速による需要拡大	ニュース、エンタメ系を中心としたトラフィックの増加
+	巣ごもり需要の拡大、EC市場の成長加速	サブスクリプション、ECなどコンシューマ向けの課金収益は堅調

今後の経営方針

短期

マイナス影響の抑制、新たな収益機会の追求、
厳格なコスト管理により、経営のパフォーマンス改善に努める

中期

顧客のDX支援を中心として、Post COVID-19の社会に適合した
経営モデルをいち早く構築、イノベーションの好機とする

※従業員および当社関係者の安全確保に関する対応については、AppendixのP.37に掲載しております

02

2020/9期 2Q累計期間連結決算概要

連 結

収益

8,805百万円（前年同期比5.2%増）

Non-GAAP営業利益

1,168百万円（前年同期比14.3%増）

前年同期比で増収増益を継続

デジタル
マーケ
ティング
事業

収益

7,760百万円（前年同期比**1.1%増**）

Non-GAAP営業利益

2,558百万円（前年同期比**2.9%増**）

COVID-19の影響を一部受けるも、増収増益を確保

メディア
プラットフォーム
フォーム
事業

収益

1,214百万円（前年同期比**43.9%**増）

Non-GAAP営業利益

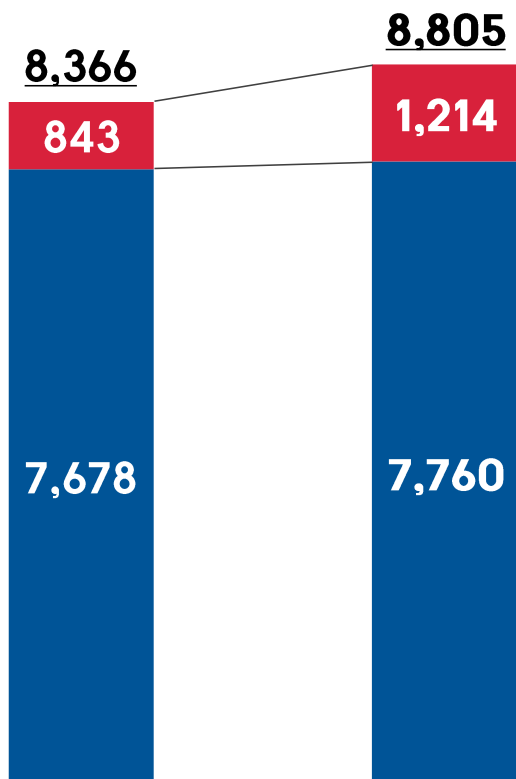
-464百万円（前年同期比**50**百万円赤字縮小）

引き続き、各事業の成長により大幅増収、赤字幅も縮小

(単位：百万円)	2020年9月期2Q累計			2019/9月期2Q累計		2020年9月期 通期業績予想 (前回予想)	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	8,805	100.0%	+5.2%	8,366	100.0%	19,000	46.3%
売上総利益	7,142	81.1%	+2.7%	6,952	83.1%	—	—
販売管理費	5,976	67.9%	+0.5%	5,949	71.1%	—	—
Non-GAAP営業利益	1,168	13.3%	+14.3%	1,022	12.2%	2,500	46.7%
営業利益	1,040	11.8%	+7.1%	971	11.6%	—	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	696	7.9%	+95.2%	357	4.3%	1,400	49.7%
【参考】売上高	38,180	—	-2.3%	39,073	—	84,000	45.5%

前年同期比において当期利益は大幅回復

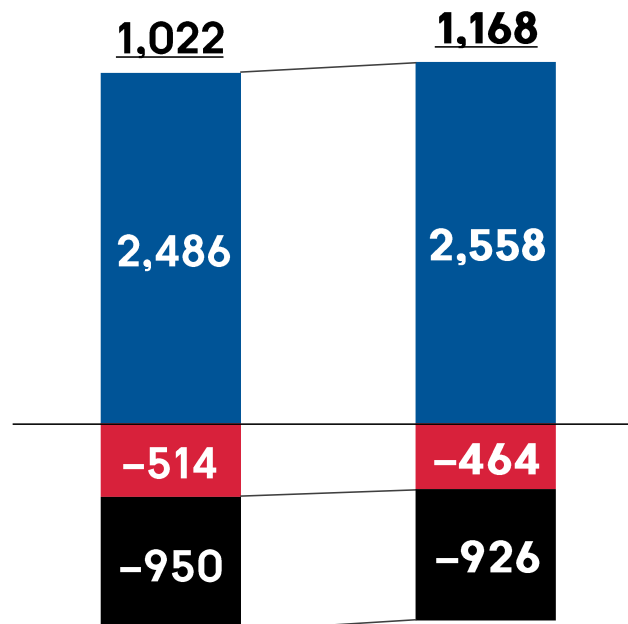
収益



19/2Q累計

20/2Q累計

Non-GAAP営業利益



19/2Q累計

20/2Q累計

各セグメントともに
前年同期比で増収増益

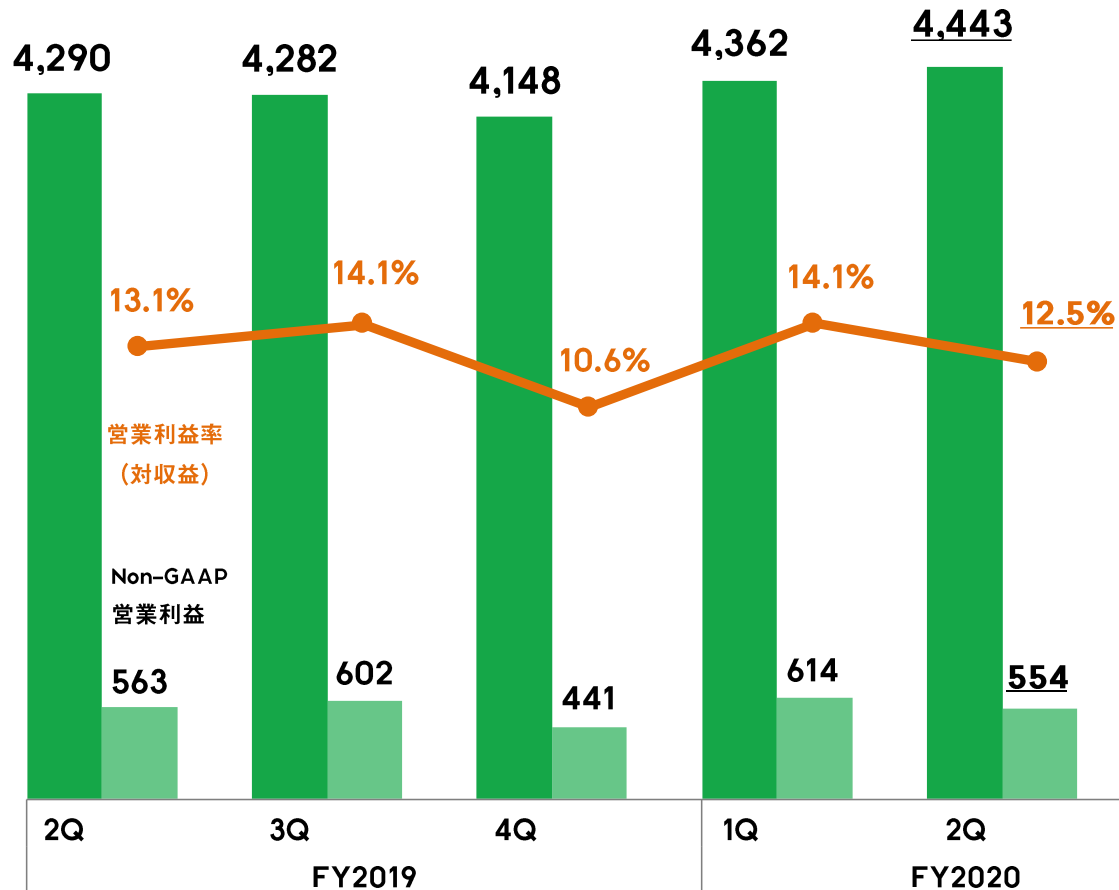
03

四半期連結決算概要

(単位：百万円)	2020年9月期 2Q			2019/9期 2Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	4,443	100.0%	+3.6%	4,290	100.0%
売上総利益	3,590	80.8%	+1.1%	3,550	82.8%
販売管理費	3,009	67.7%	+0.2%	3,001	70.0%
Non-GAAP営業利益	554	12.5%	-1.6%	563	13.1%
営業利益	467	10.5%	-17.1%	563	13.1%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	309	6.9%	+153.4%	122	2.8%
【参考】売上高	18,993	—	-3.7%	19,730	—

前年同期比で増収、Non-GAAP営業利益は横ばい

収益（単位：百万円）



収益 **4,443**百万円
 （前年同期比 **3.6%**増）

Non-GAAP営業利益 **554**百万円
 （前年同期比 **9**百万円減）

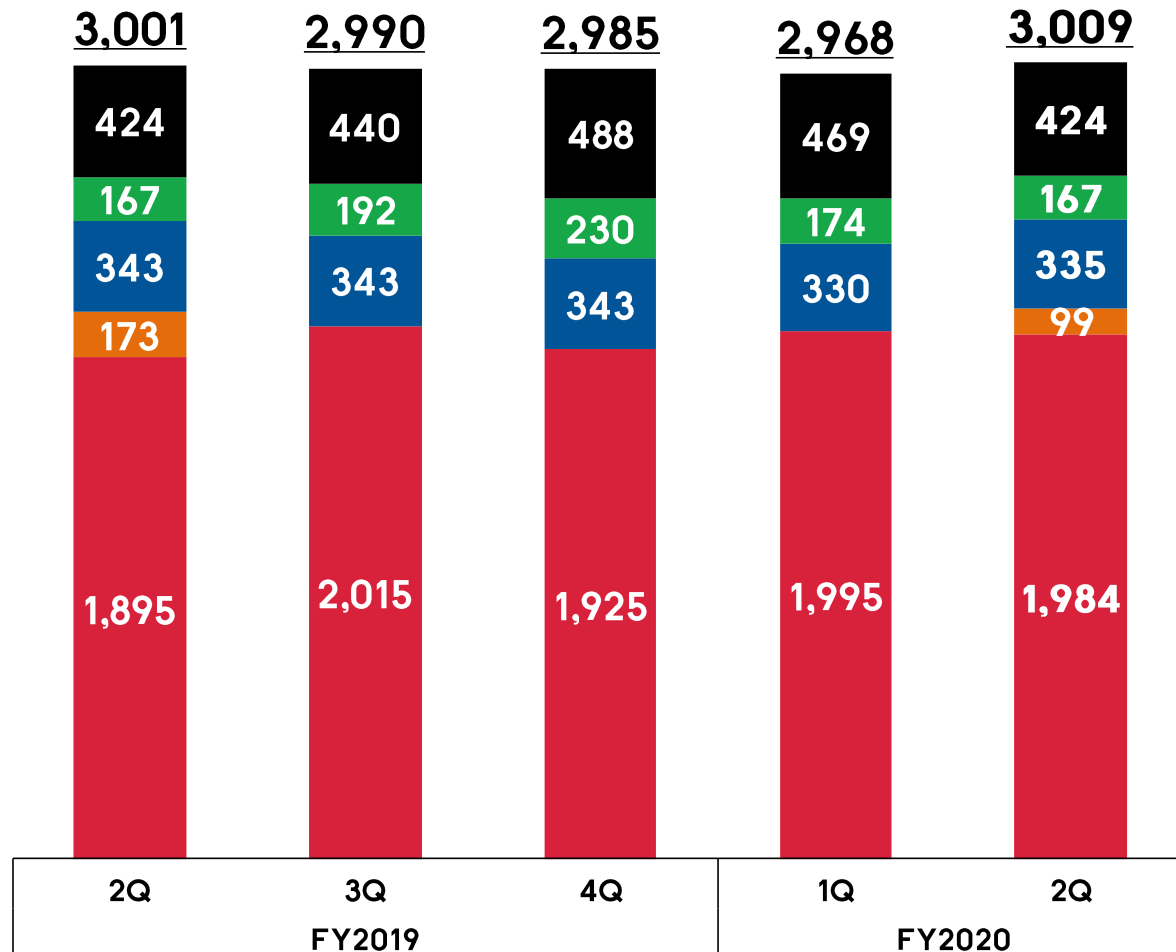
収益は過去最高を更新、Non-GAAP営業利益は堅調に推移

(単位：百万円)	FY2019				FY2020		QonQ	YonY
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
売上原価合計	673	740	690	730	810	853	+5.3%	+15.2%
人件費	273	286	230	239	251	257	+2.1%	-10.2%
外注費	95	143	98	112	118	131	+11.6%	-8.4%
その他	306	311	362	378	441	465	+5.5%	+49.5%
販管費合計	2,947	3,001	2,990	2,985	2,968	3,009	+1.4%	+0.2%
人件費	1,934	1,895	2,015	1,925	1,995	1,984	-0.5%	+4.7%
追加決算賞与	—	173	—	—	—	99	—	-42.6%
賃借料等※	344	343	343	343	330	335	+1.4%	-2.4%
販促費・広告費	221	167	192	230	174	167	-3.9%	+0.1%
その他	448	424	440	488	469	424	-9.6%	-0.0%

※2020年9月期よりIFRS16（リース会計基準）の適用に伴い、賃借料等の一部を金融費用として計上

メディアプラットフォーム事業の拡大に伴い売上原価が増加

■ 人件費 ■ 追加決算賞与 ■ 賃借料等 ■ 広告宣伝費 ■ その他 (単位：百万円)



販管費は安定的に推移

※2Qは追加決算賞与を支給（約99百万円）

※2020年9月期よりIFRS16（リース会計基準）の適用に伴い、賃借料等の一部を金融費用として計上

04

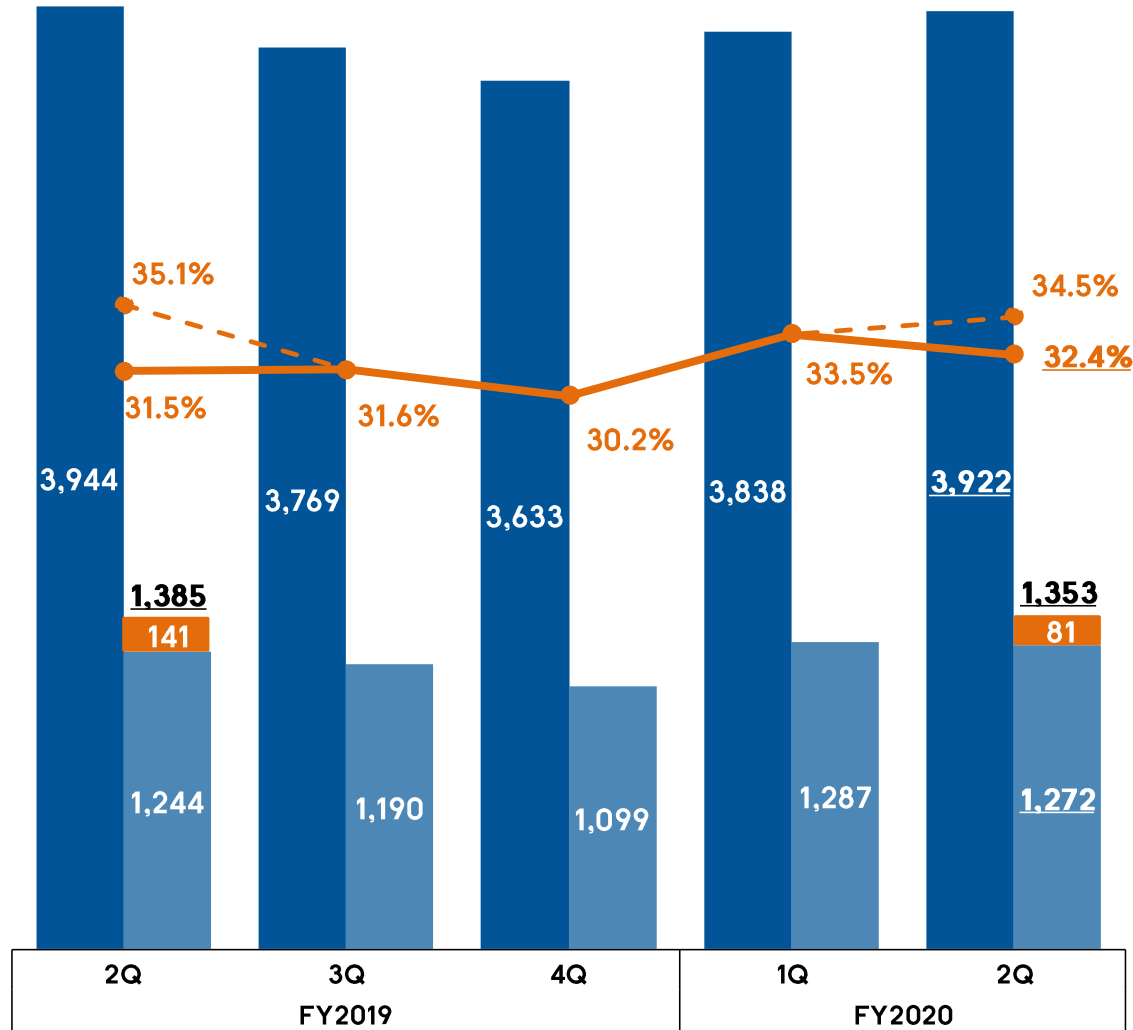
デジタルマーケティング事業

(単位：百万円)	2020年9月期 2Q			2019/9期 2Q		2020/9期 通期業績予想 (前回予想)	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	3,922	100.0%	-0.6%	3,944	100.0%	16,500	47.0%
売上総利益	3,391	86.5%	+0.1%	3,386	85.9%	—	—
販売管理費	2,107	53.7%	-1.8%	2,147	54.4%	—	—
Non-GAAP 営業利益	1,272	32.4%	+2.2%	1,244	31.5%	5,300	48.3%
【参考】売上高	18,524	—	-5.0%	19,491	—	—	—

※ COVID-19影響額：収益およびNon-GAAP営業利益△約40百万円

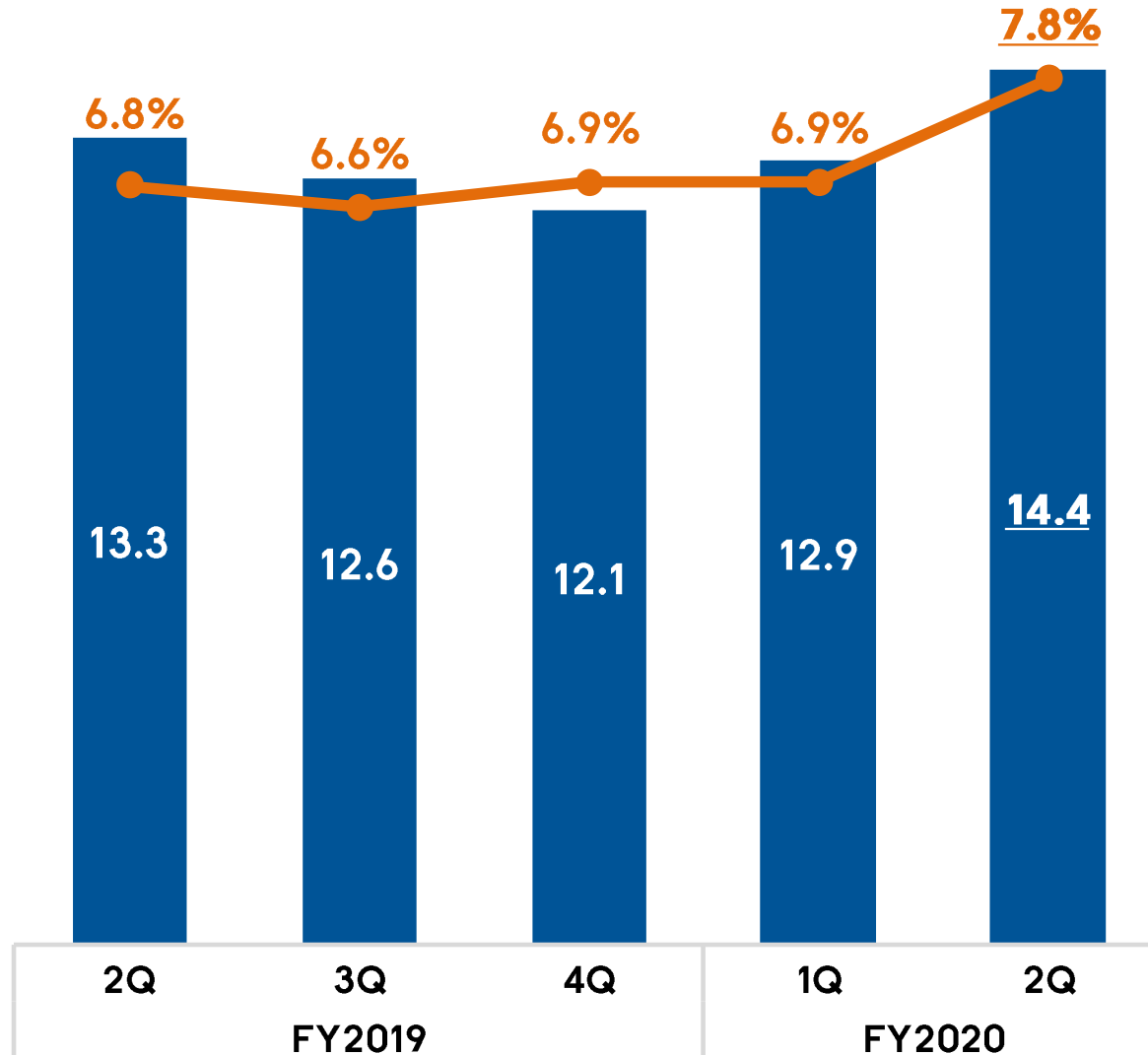
一部COVID-19の影響を受け、収益は前年同期比で微減となったが、業績予想に対しては順調な進捗

■ 収益
—●— 営業利益率（対収益）
—◆— 追加決算賞与(デジタルマーケティング事業)
■ Non-GAAP営業利益（単位：百万円）
—◆— 営業利益率（対収益※追加決算賞与除く）



前年同期比で国内は増収の
 一方、海外が減収となり、
 事業全体では-0.6%の減収

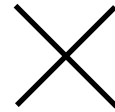
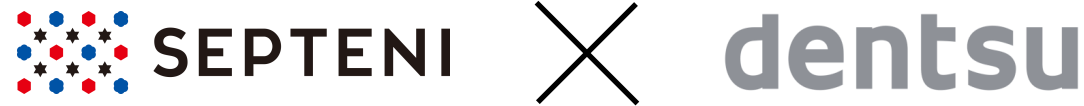
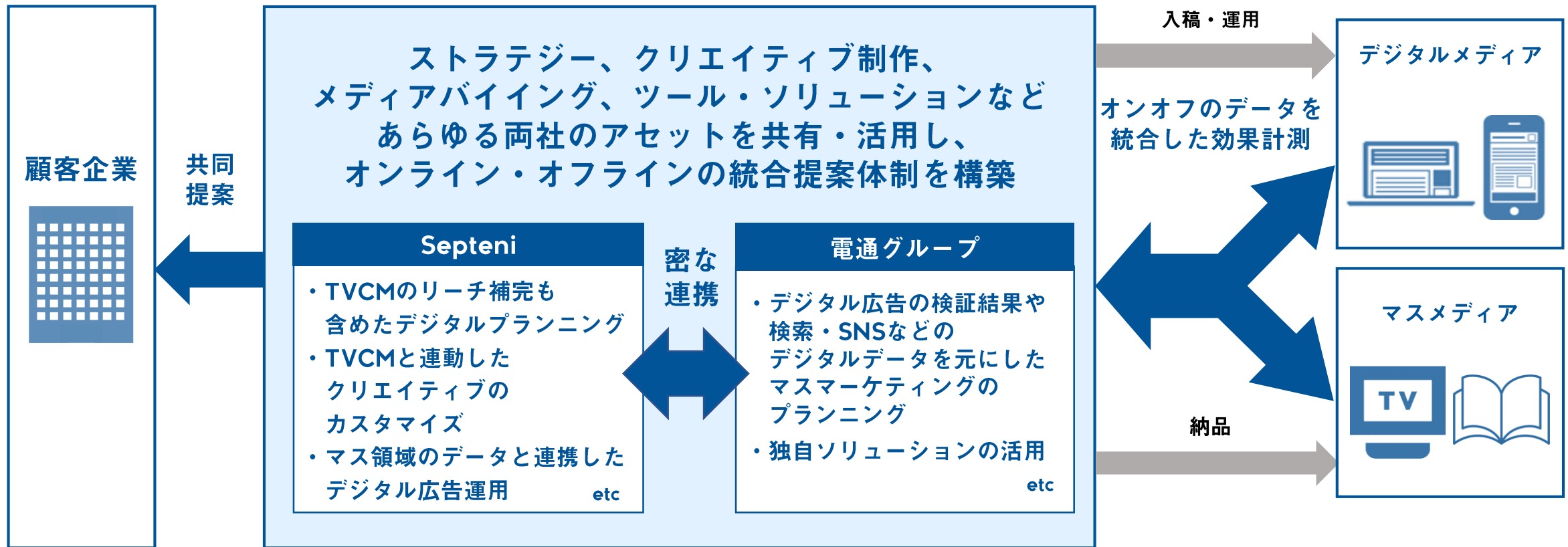
■ ブランド広告取扱高（単位：億円）
● デジタルマーケティング事業における構成比



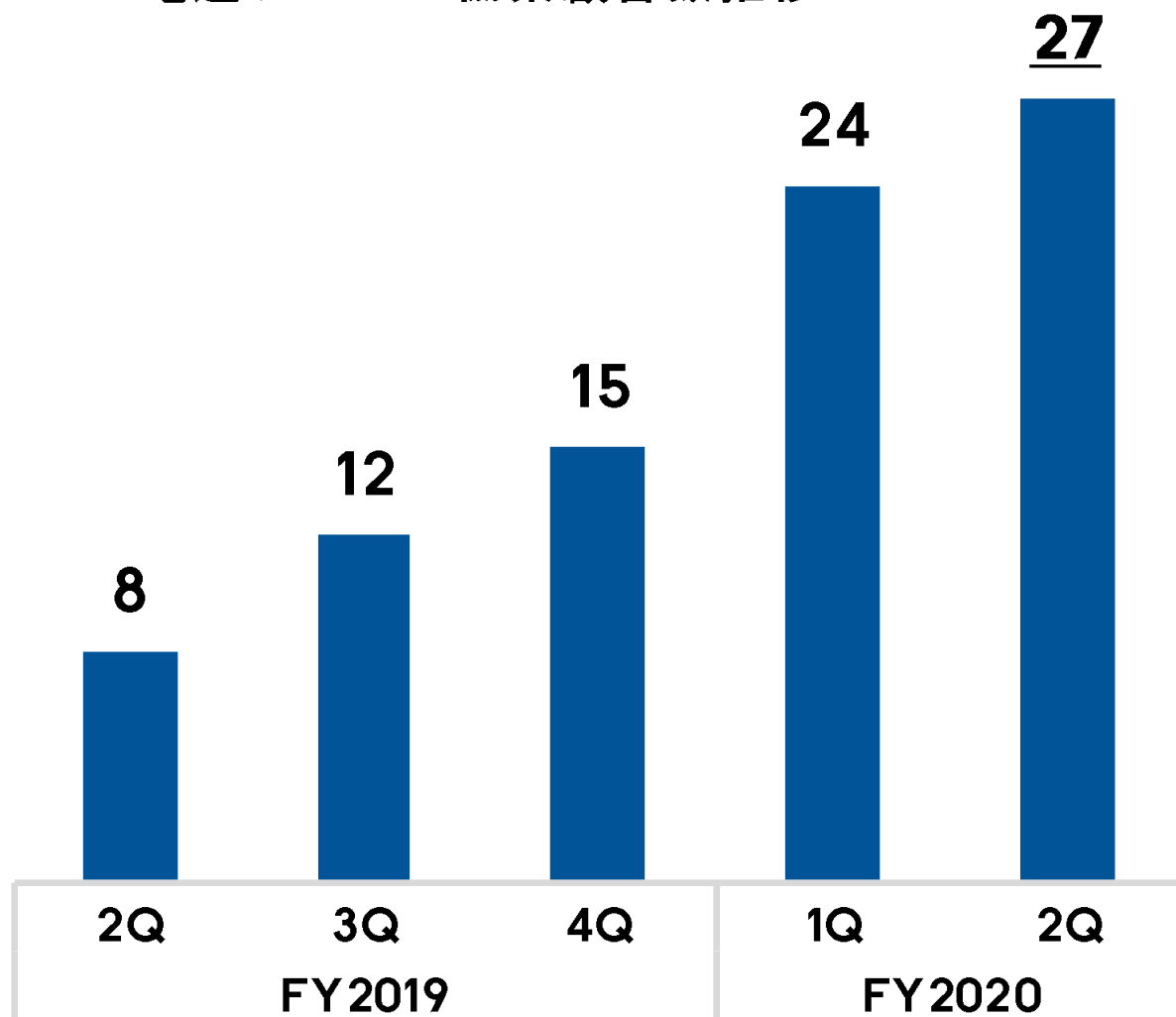
前四半期比では **+12.1%**、
前年同期比では
+8.4%の成長

対取扱高比率も
着実に上昇

両社の顧客基盤を活用したオンライン・オフライン広告の統合マーケティング提案（イメージ）


dentsu


■ 電通グループ協業顧客数推移



電通グループとの
協業で取り扱う
顧客数が着実に増加

電通グループとの提携

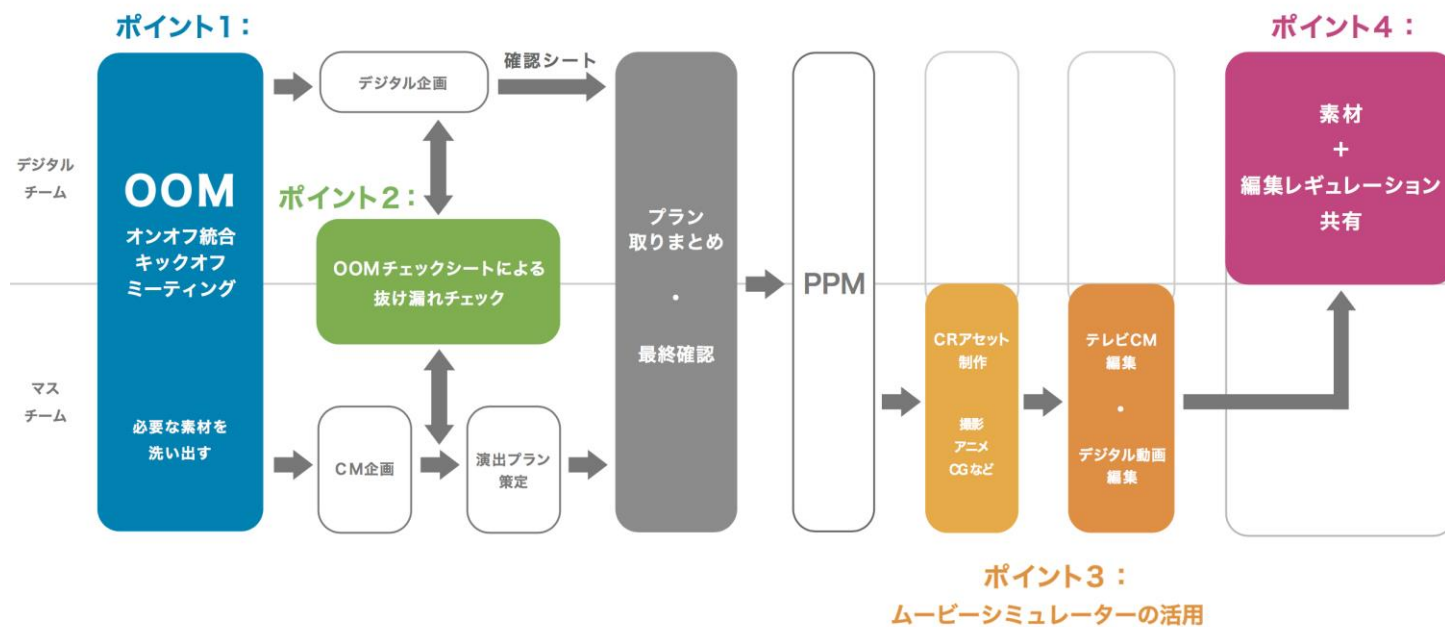
セプテーニ、電通、電通デジタル、
デジタル広告とマス広告の相乗効果を最大化する
「オンオフ統合クリエイティブワークフロー」を開発、運用開始

※ワークフローイメージ



DENTSU
DIGITAL

dentsu

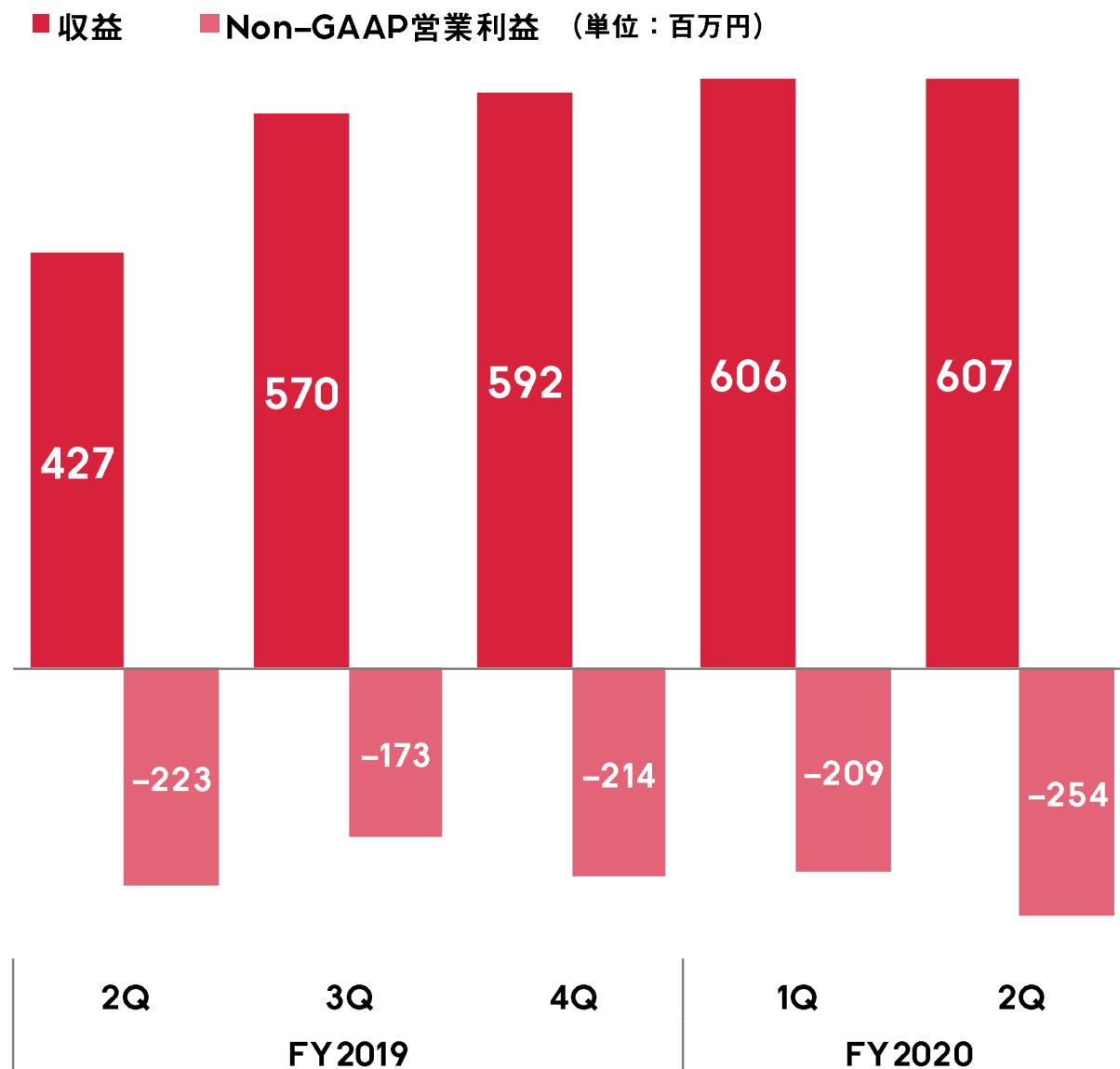


05

メディアプラットフォーム事業

(単位：百万円)	2020年9月期 2Q			2019/ 9期 2Q		2020/ 9期 通期業績予想 (前回予想)	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	607	100.0%	+42.1%	427	100.0%	2,900	41.8%
売上総利益	279	45.9%	+13.3%	246	57.6%	—	—
販売管理費	532	87.5%	+13.3%	469	109.8%	—	—
Non-GAAP 営業利益	-254	—	-31	-223	—	-850	—

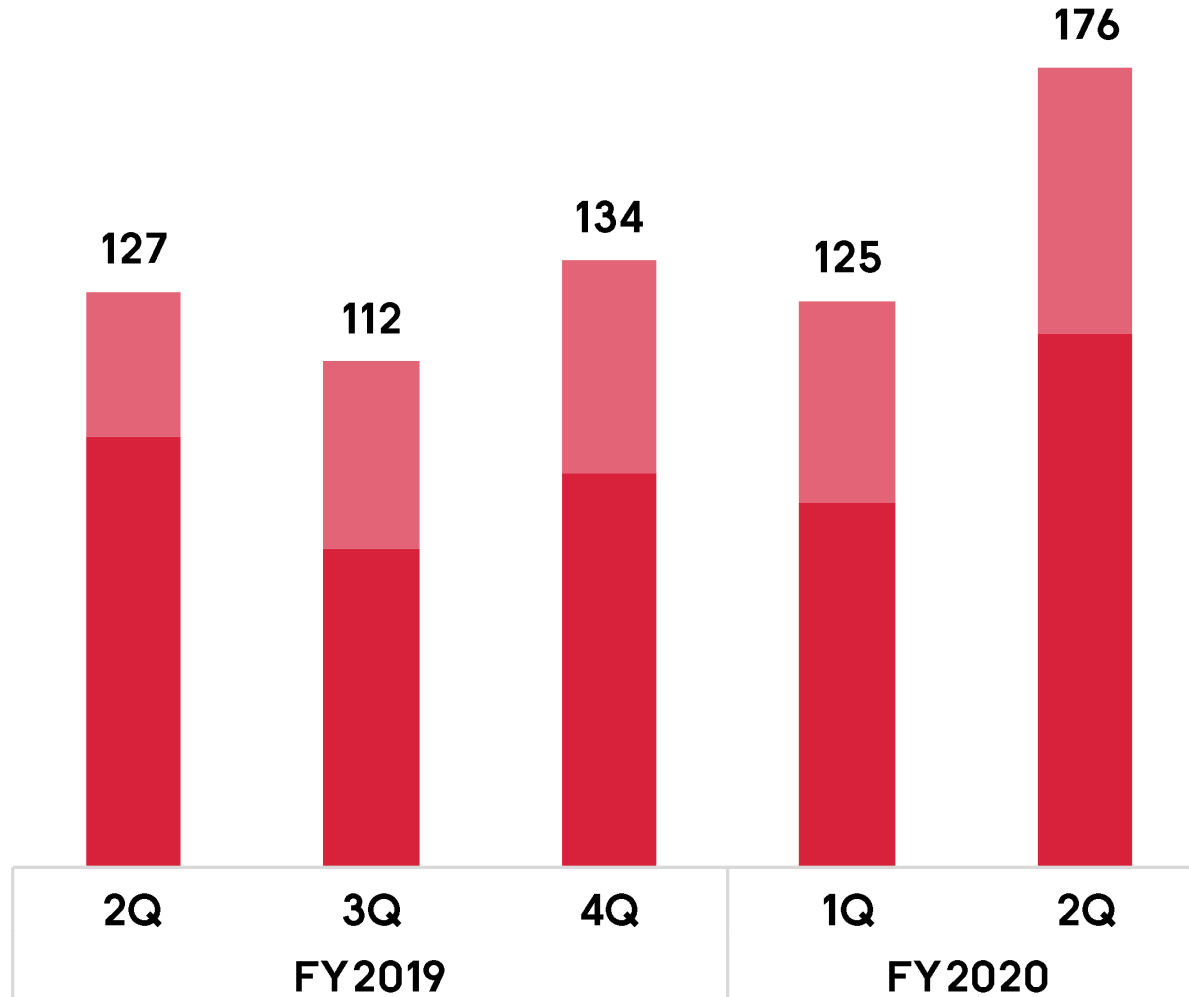
ブランド広告とサブスクリプションの成長が
セグメント収益の伸びを牽引



マンガコンテンツ
事業を中心に
トップラインが伸長

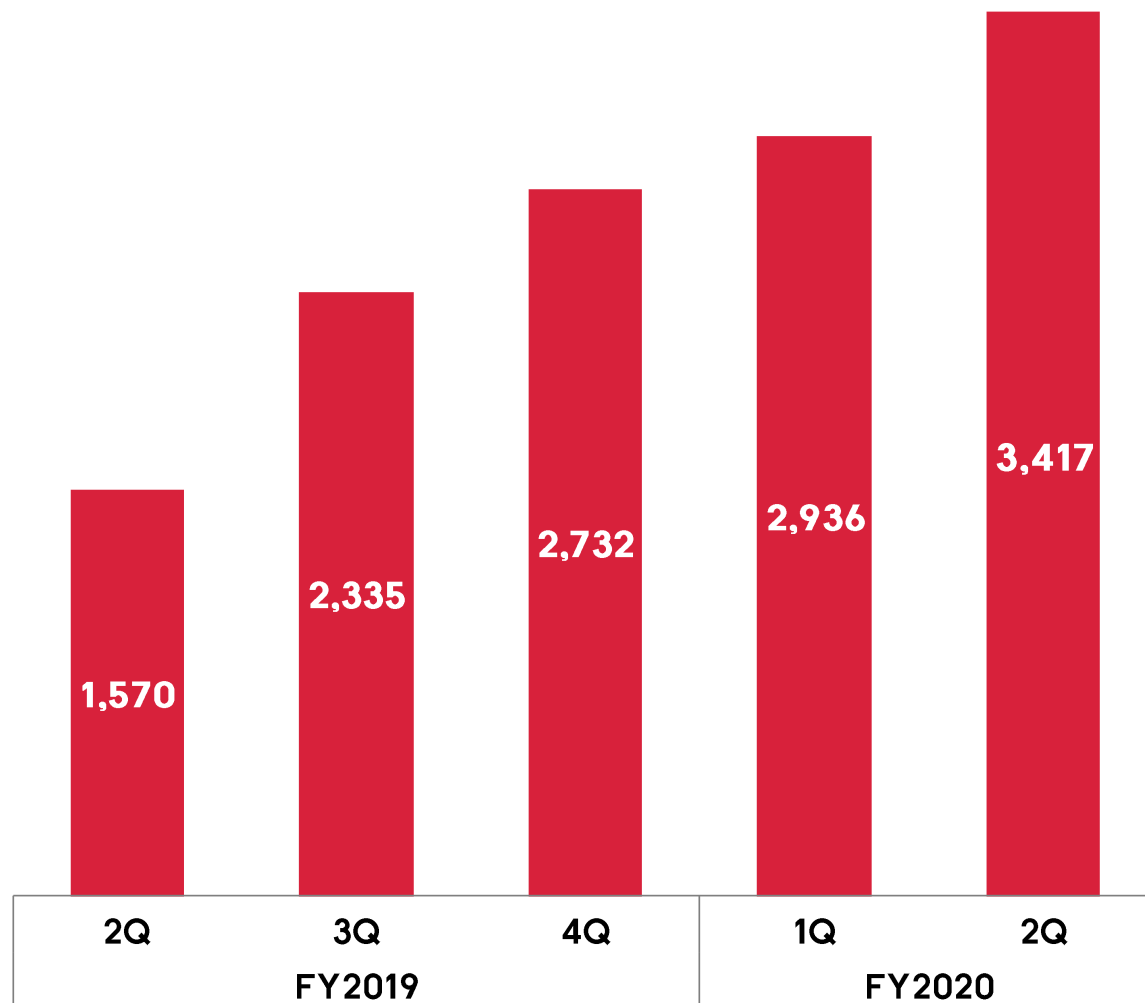
※FY2018/1Qの収益を100として指数化

■ 広告 ■ 課金



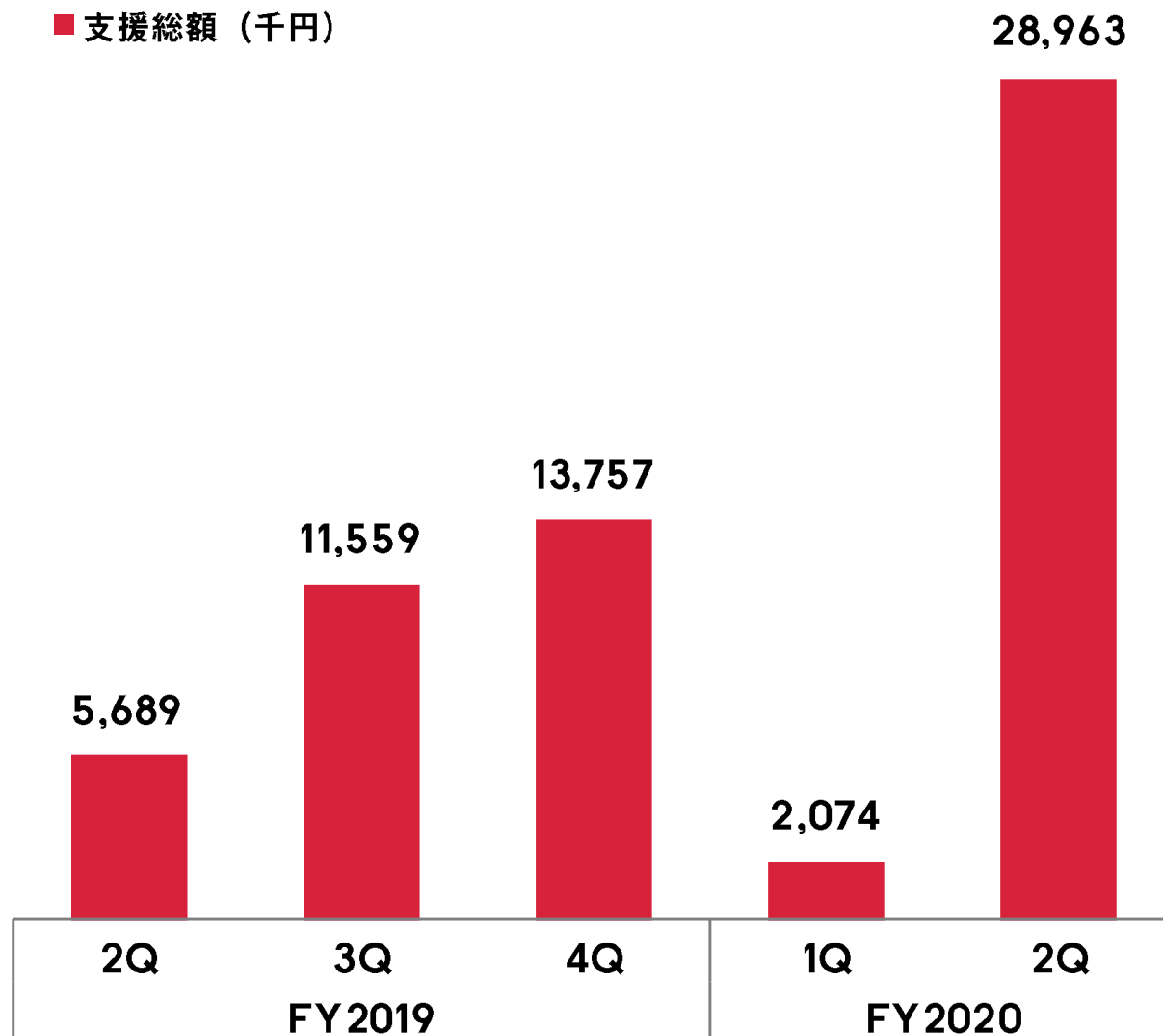
広告収益、課金収益
ともに順調に増加

※FY2017/1Qの収益を100として指数化



課金者数が堅調に増加し、サブスクリプション収益は前年同期比で約2.2倍に

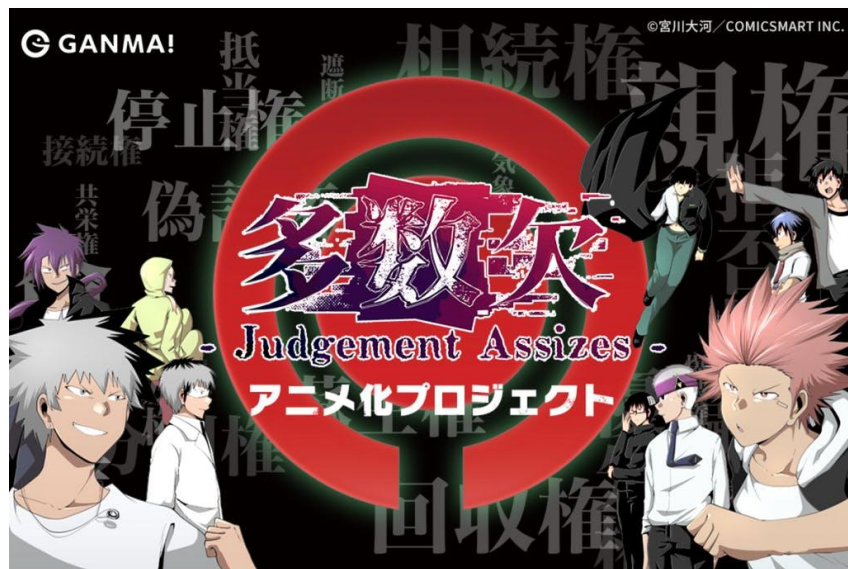
■ 支援総額 (千円)



**GANMA!オリジナル作品
に対する**

**ユーザエンゲージメントが
向上し、**

**クラウドファンディングの
実績が徐々に拡大**



(株)丸井グループ後援のもと、
クラウドファンディングを
活用したGANMA!の人気作品
「多数欠」のアニメ化
プロジェクトを開始

06

業績予想修正

(単位：百万円)	収益	Non-GAAP 営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A)	19,000	2,500	1,400	11円07銭
今回発表予想 (B)	17,000	1,250	720	5円69銭
増減額 (B-A)	△2,000	△1,250	△680	
増減率 (%)	△10.5	△50.0	△48.6	
前期実績 (2019年9月期)	16,796	2,065	△547	
修正理由	<p>COVID-19感染拡大に伴い、当期業績への大幅な影響が見込まれるため ※なお、2020年9月以前の段階でCOVID-19に伴う外部環境の回復が明らかな場合には、相応の収益増加が見込まれます。その際は、状況が判明し次第、速やかに開示いたします。</p>			

COVID-19の影響により、当期業績予想を下方修正

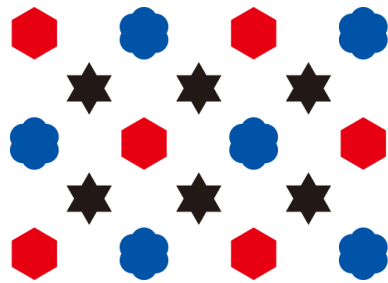
(単位：百万円)

デジタル マーケティング
メディア プラットフォーム
消去・全社
連結

収 益		
前回発表予想	今回発表予想	増減率 (%)
16,500	14,800	△10.3
2,900	2,450	△15.5
△400	△250	-
19,000	17,000	△10.5

Non-GAAP営業利益		
前回発表予想	今回発表予想	増減率 (%)
5,300	4,050	△23.6
△850	△1,000	-
△1,950	△1,800	-
2,500	1,250	△50.0

本日はありがとうございました。



SEPTENI

お問い合わせ先

セプテーニ・ホールディングス 経営企画部IR課

www.septeni-holdings.co.jp

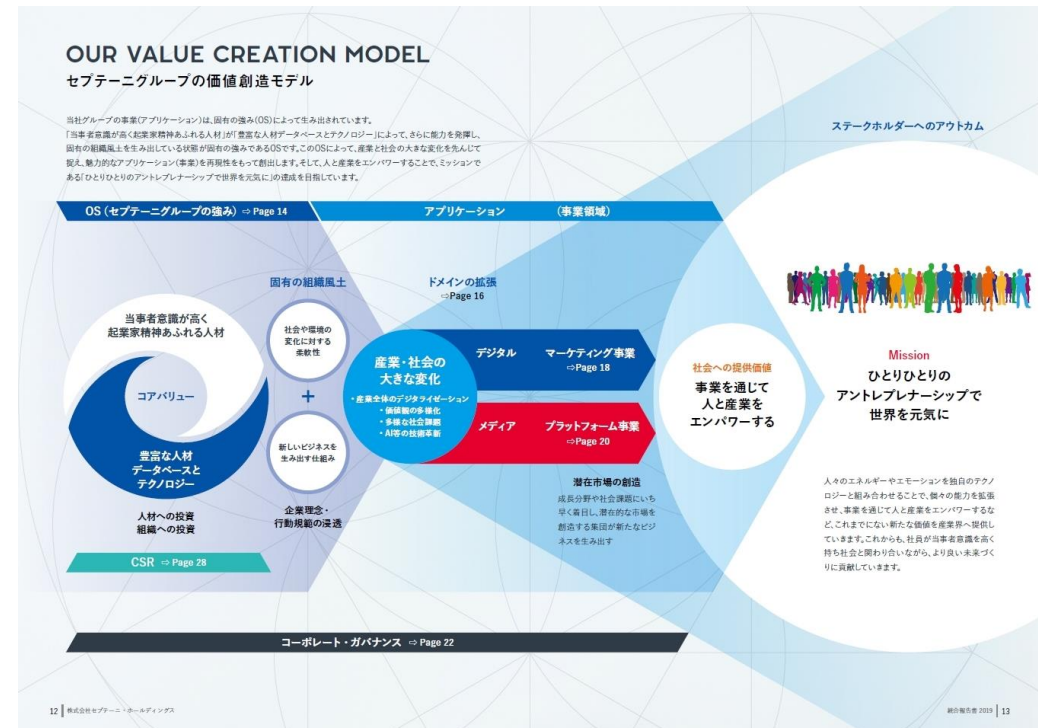
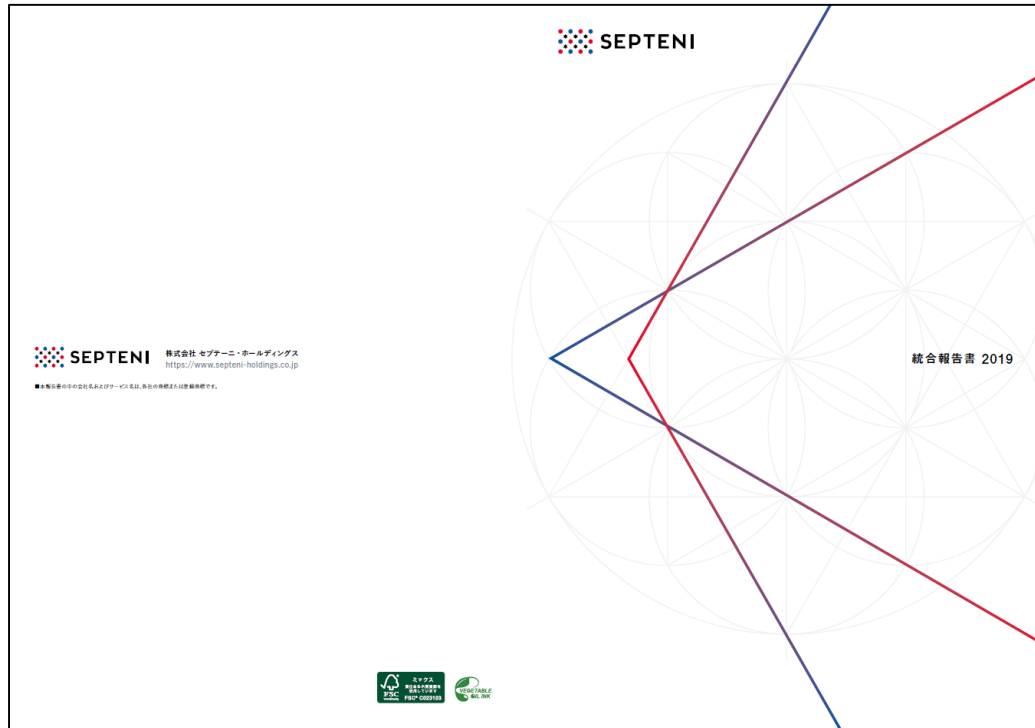
TEL : 03-6857-7258 E-mail : ir@septeni-holdings.co.jp

※各種数値の過去推移につきましては、次ページ以降の補足資料に記載しておりますので、併せてご参照ください。

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2020年4月28日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません。
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。

07

補足資料



2019年度版統合レポートを発刊しました。
当社グループの中長期での経営方針と事業戦略、事業活動における価値創造の全体像を公開しております。

詳細は当社ウェブサイト

(https://www.septeni-holdings.co.jp/ir/pdf/integratedreport2019_ja.pdf)、

もしくは左記のQRコードからご覧ください。

安全確保への対応

当社グループ従業員および当社関係者の皆様の安全確保を最優先に、感染拡大状況を注視しながら、状況に応じた対応策を検討・実施する（2020年2月27日より対応を徹底）

1. 勤務形態について

(1) 原則として在宅勤務を実施

(2) 必要があり出社する場合は、グループ執行役員もしくは各社代表者による指示があった場合のみ許可

2. 業務への対応

(1) 会議は原則としてWEB会議にて実施

(2) 往訪・来訪・出張・会食は禁止

3. 感染の疑いがある場合の対応

本人または同居者が発熱（37.0° 以上）した場合は

(1) 危機管理対策部会へ報告し、自宅待機（同居者が発熱した場合は在宅勤務）

(2) 14日間の健康観察期間を設定、対象期間中は検温と報告を必須とする

感染者との濃厚接触がある場合は

(1) 危機管理対策部会へ報告し、在宅勤務

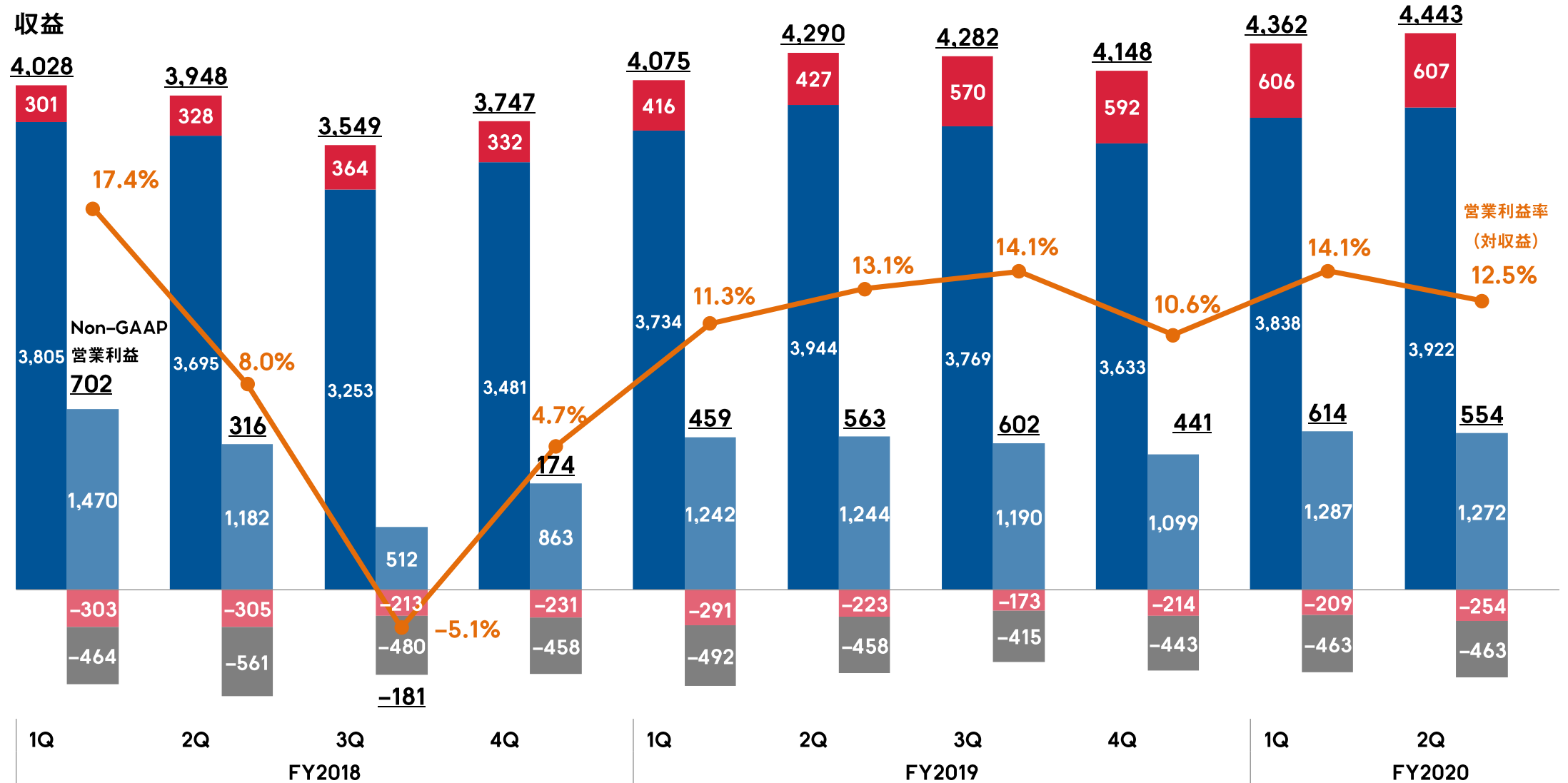
(2) 14日間の健康観察期間を設定、対象期間中は検温と報告を必須とする

4. その他

(1) 手洗い・うがいの徹底推奨

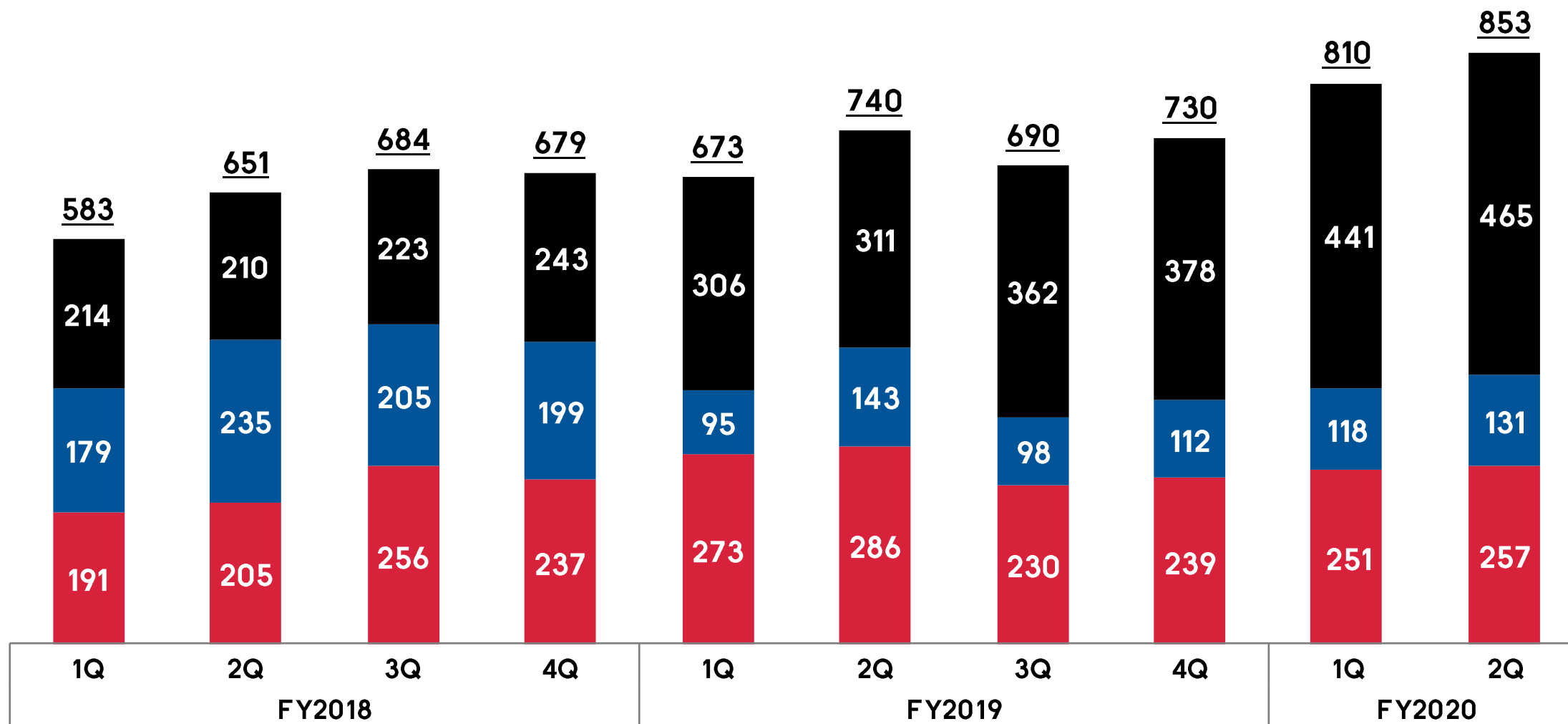
(2) 消毒用アルコールの設置と利用推奨

(3) 咳エチケットの実施とマスク着用の推奨

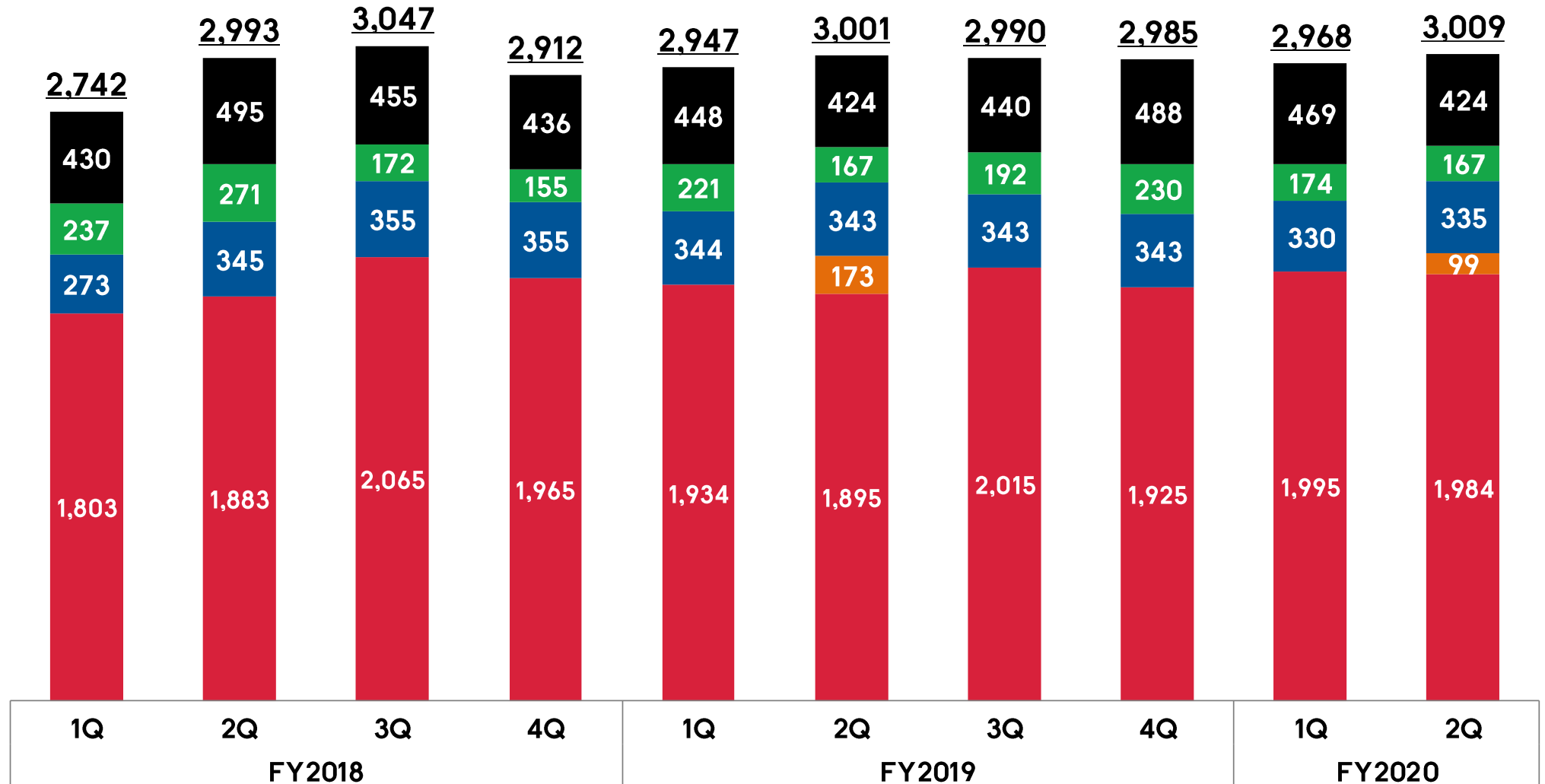


※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益（下線付数値）は一致しない

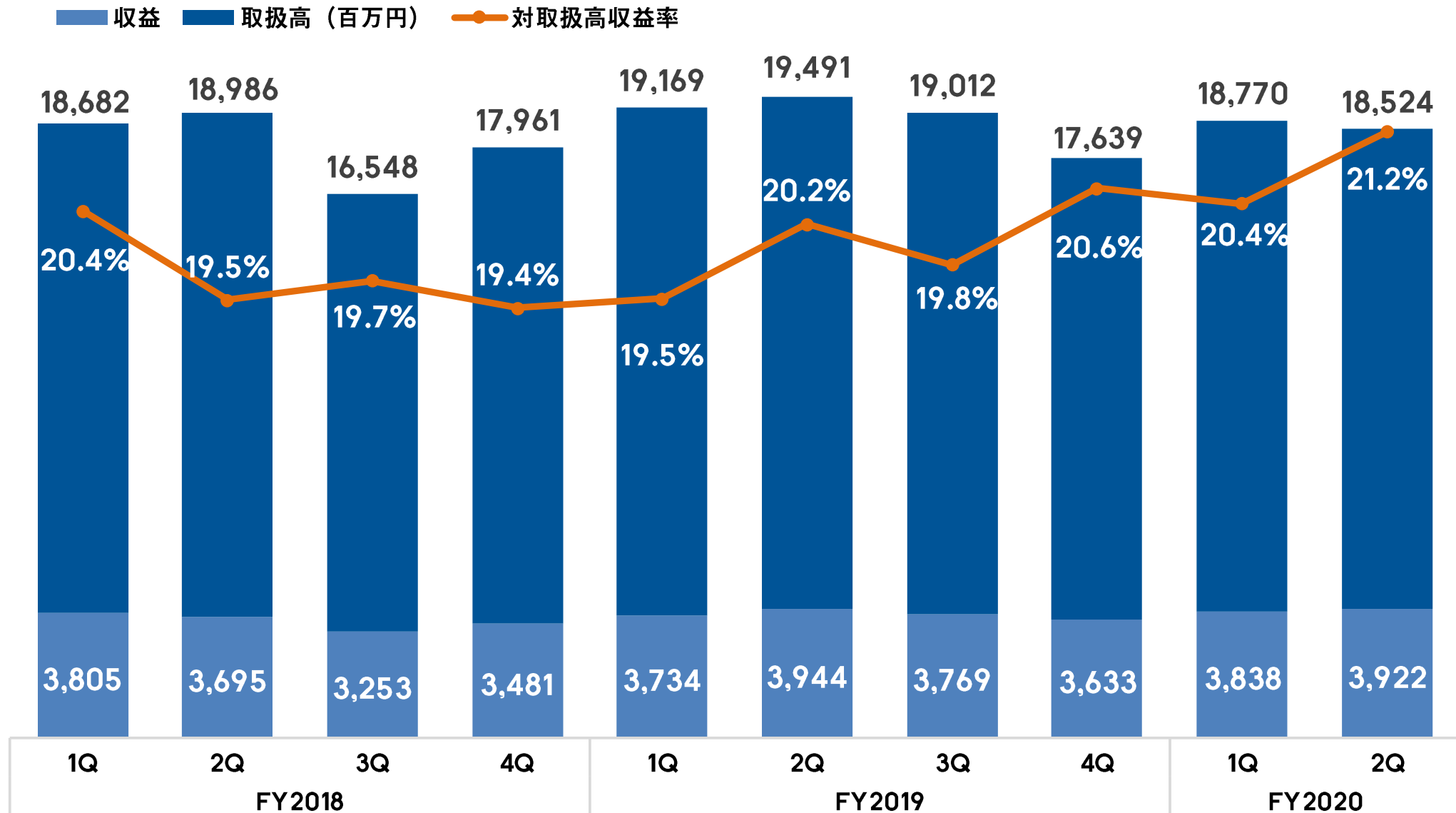
■ 人件費 ■ 外注費 ■ その他 (単位：百万円)



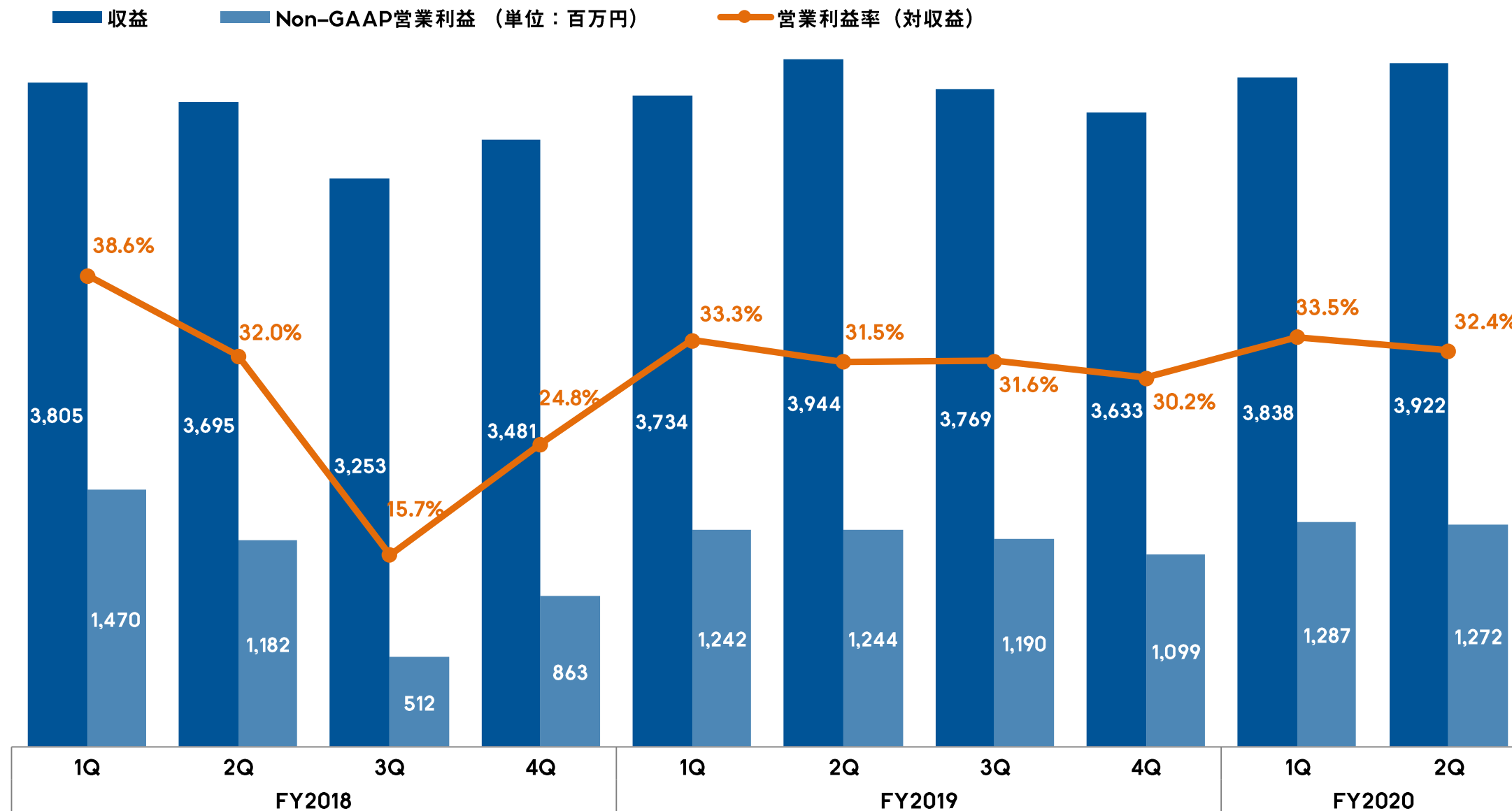
■ 人件費 ■ 追加決算賞与 ■ 賃借料等 ■ 広告宣伝費 ■ その他（単位：百万円）



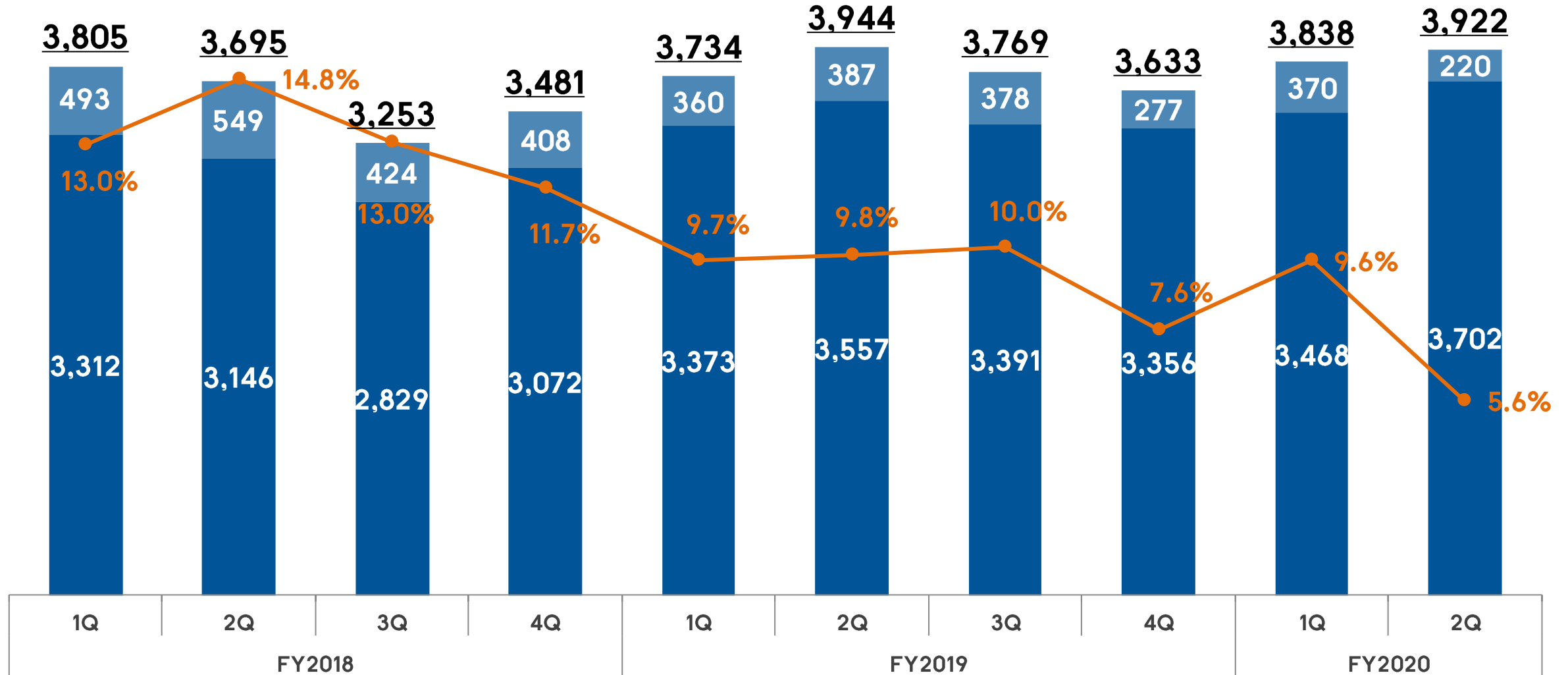
※ 2020年9月期よりIFRS16（リース会計基準）の適用に伴い、賃借料等の一部を金融費用として計上

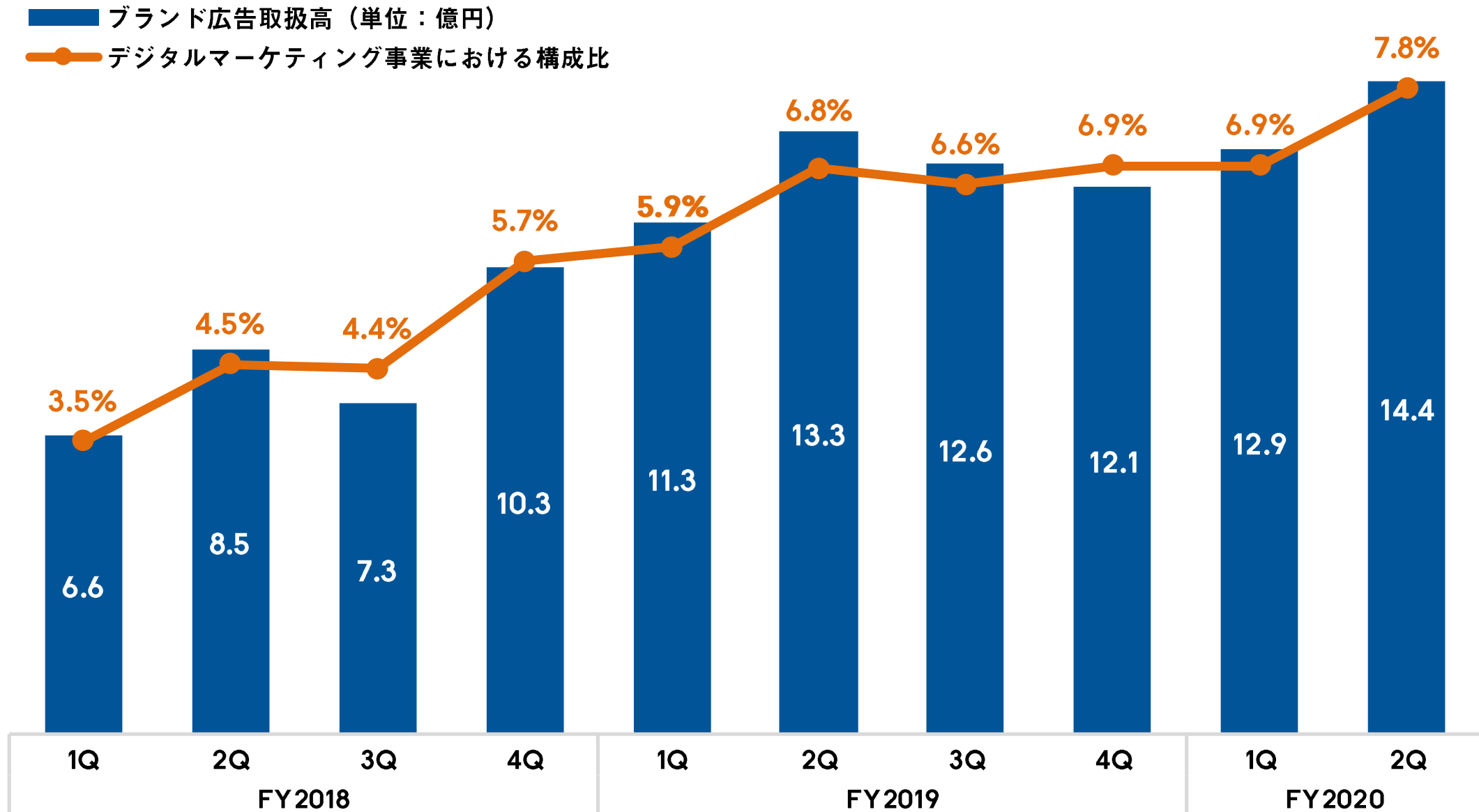


※取扱高=日本基準における売上高、収益=IFRSにおける収益を指す

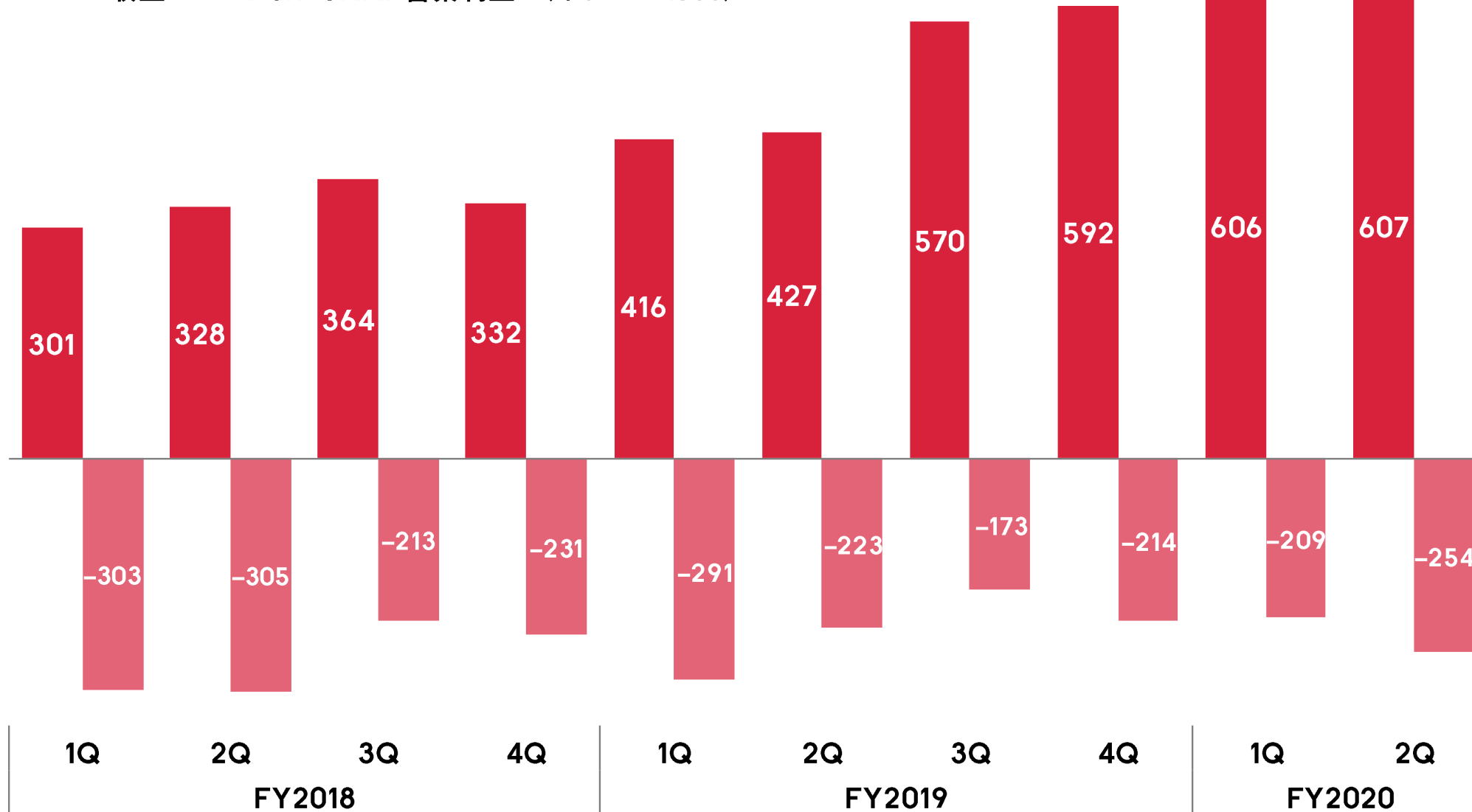


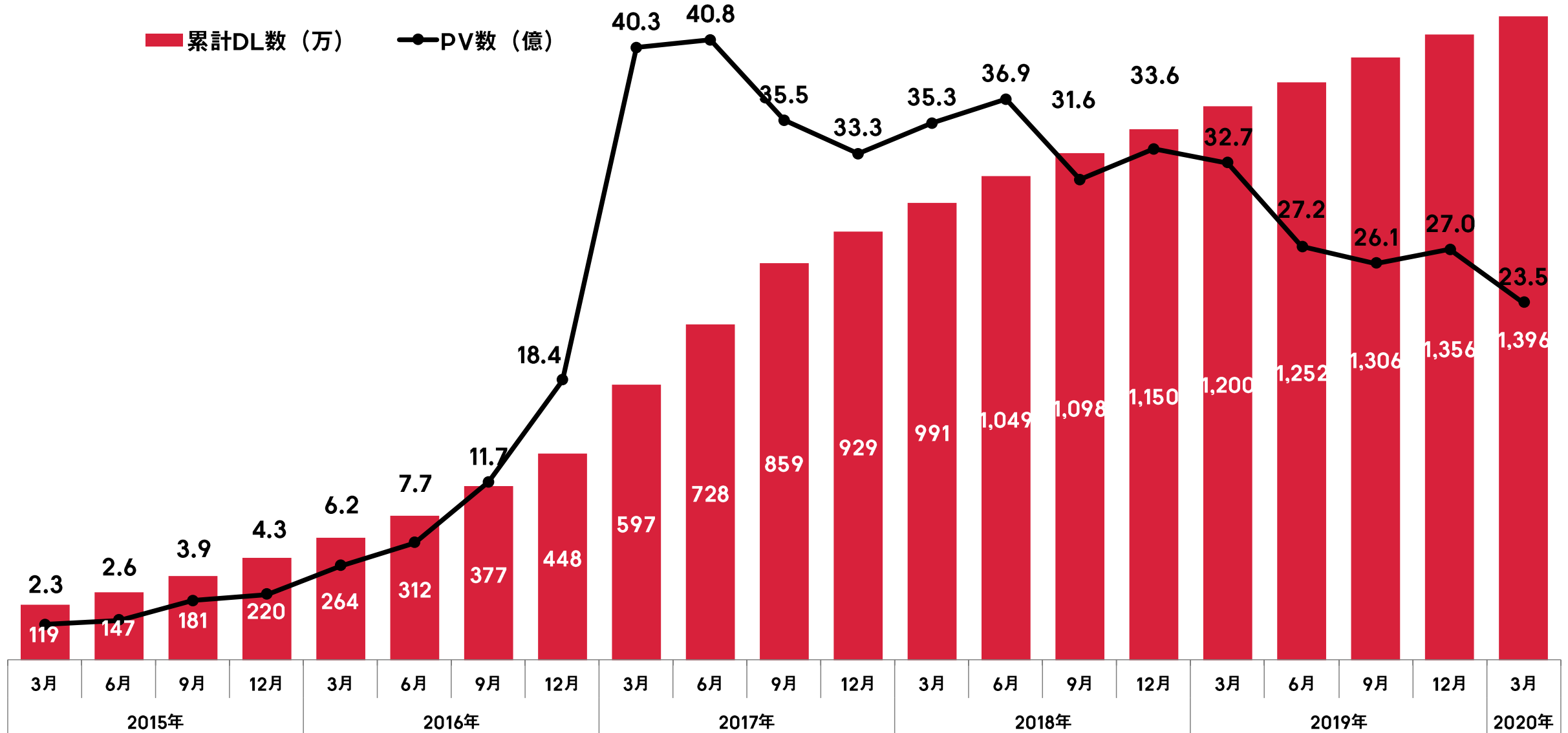
■ 海外収益 ■ 国内収益（百万円） ● 海外収益比率





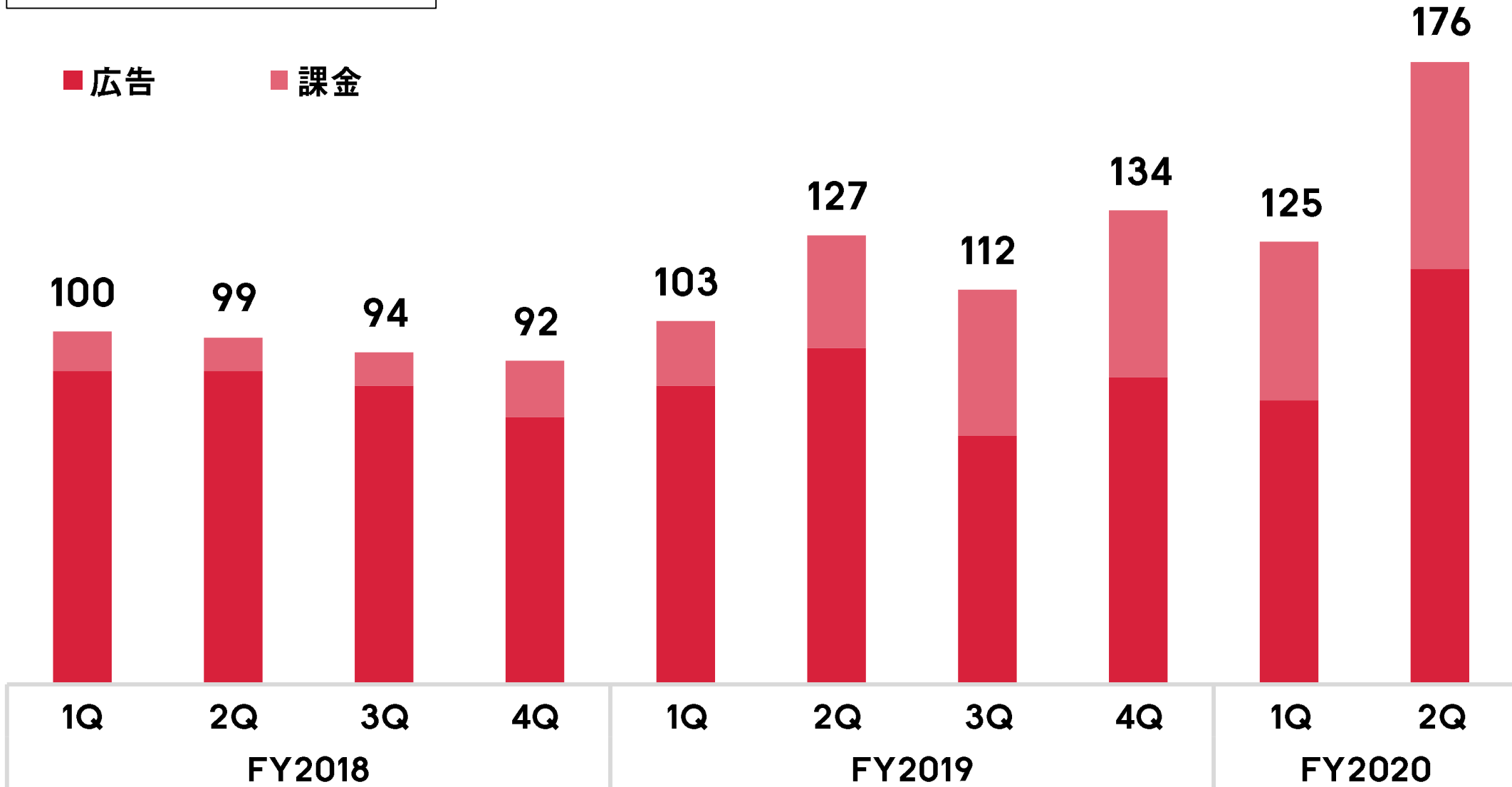
■ 収益 ■ Non-GAAP営業利益 (単位：百万円)



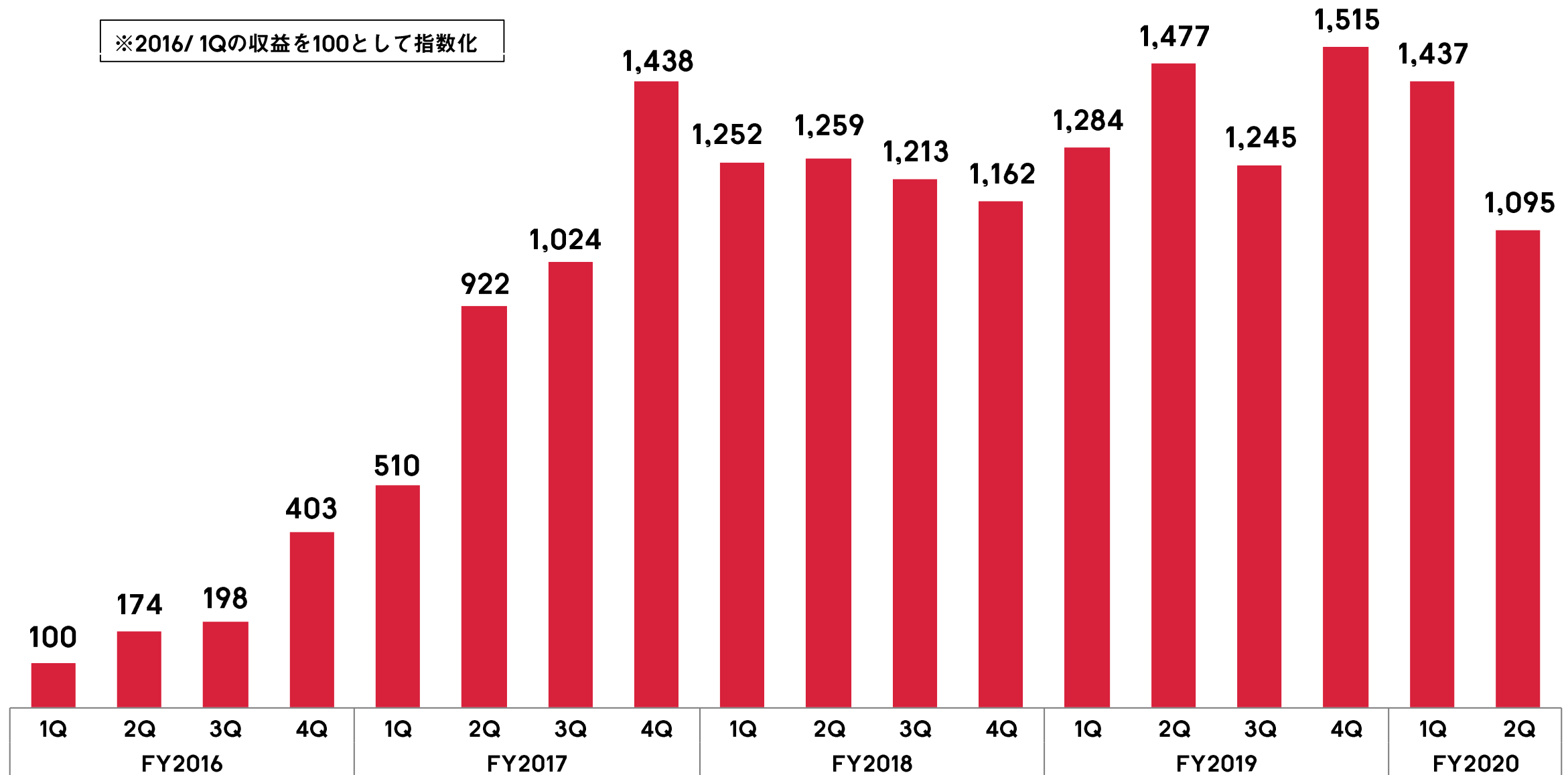


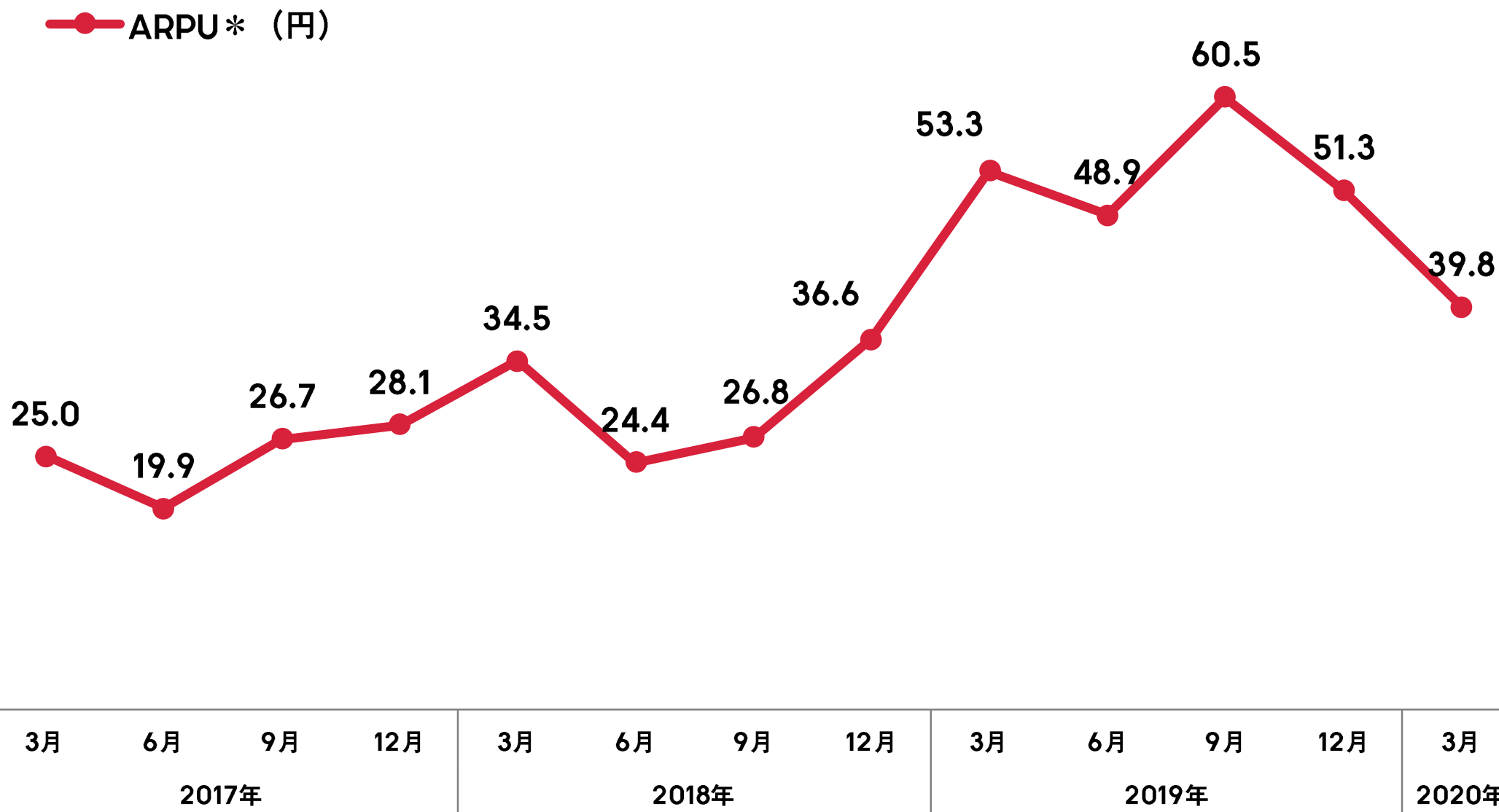
※2018/1Qの収益を100として指数化

■ 広告 ■ 課金



※2016/1Qの収益を100として指数化

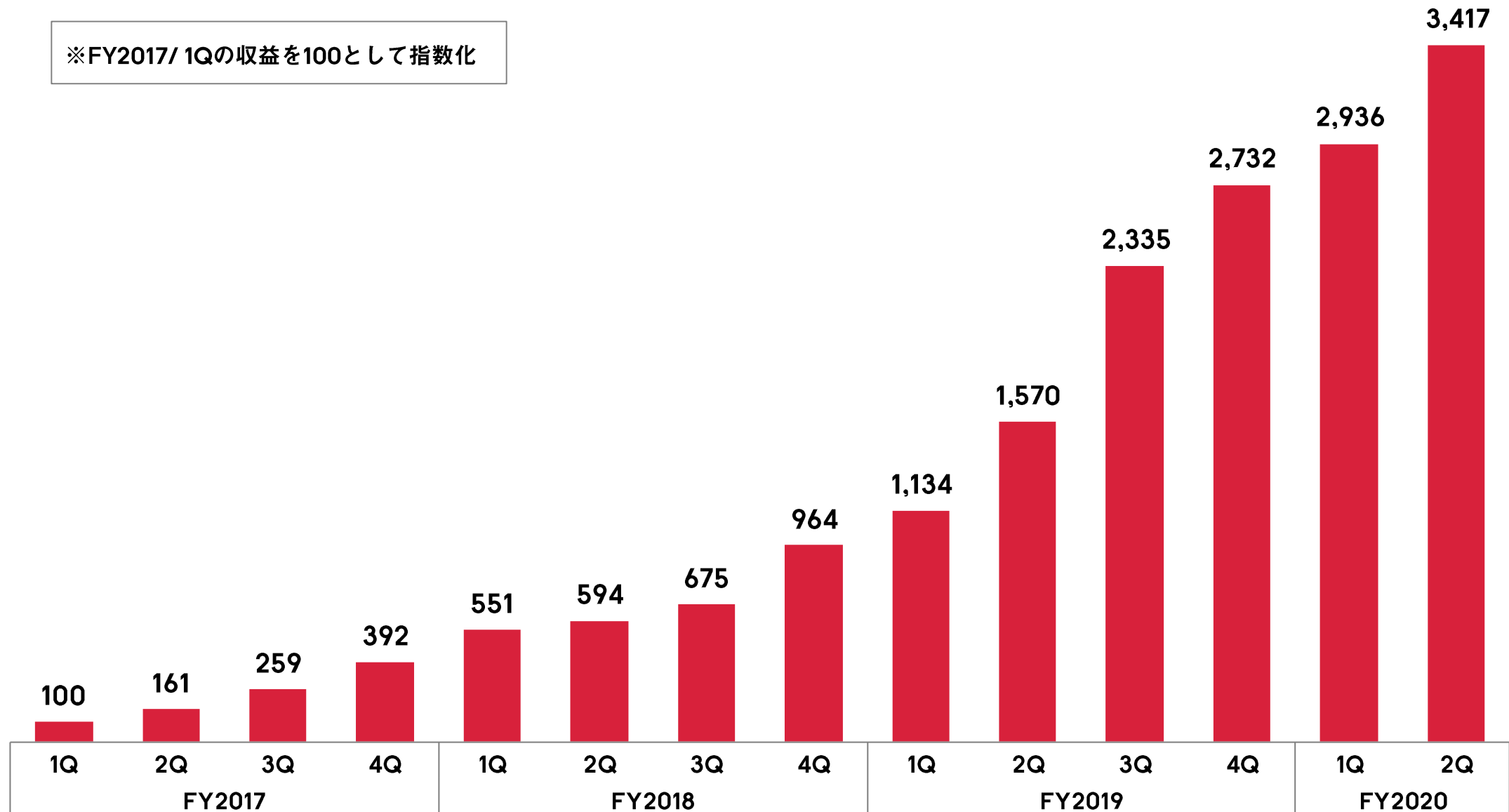


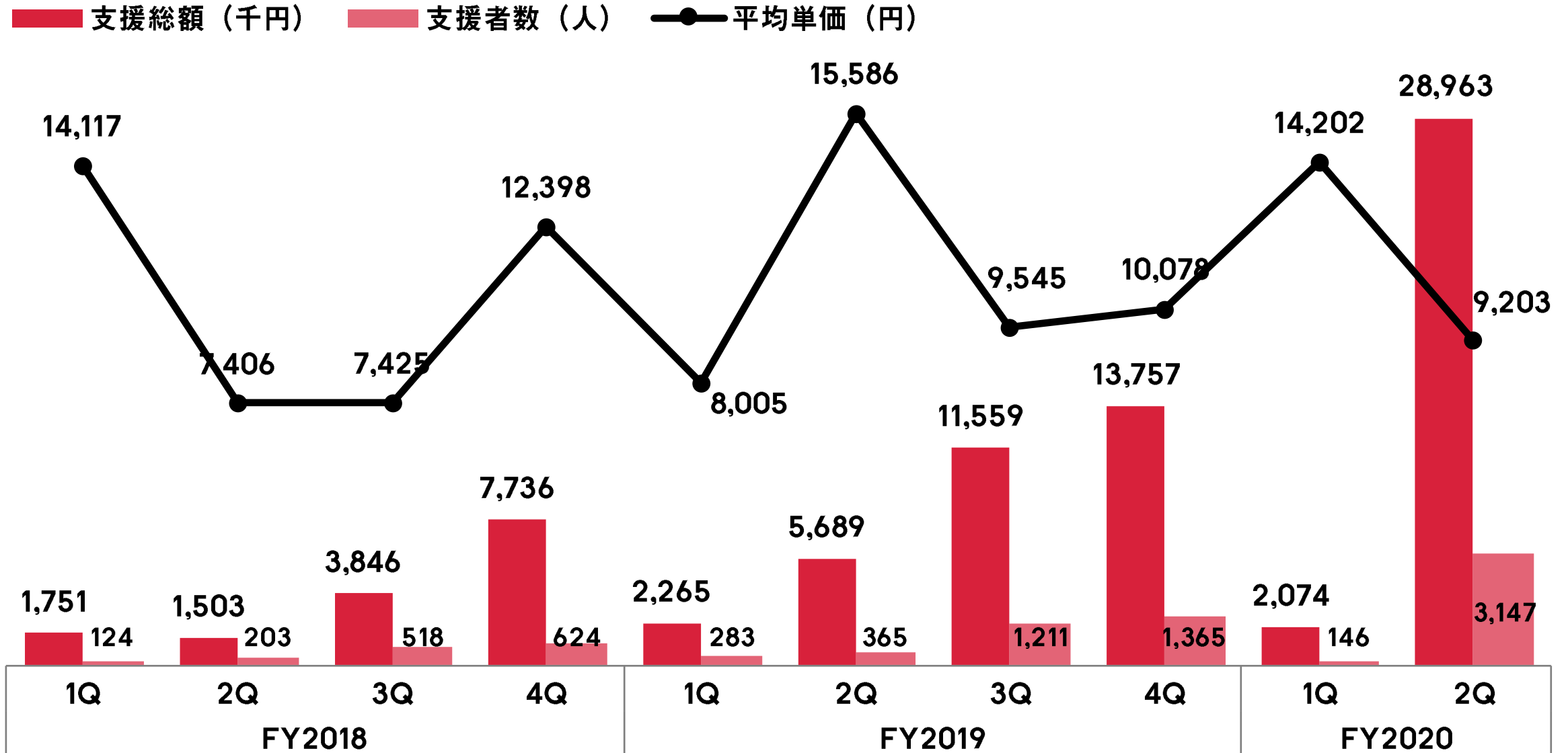


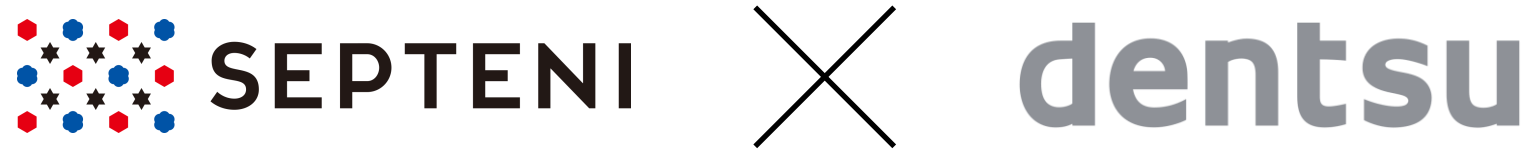
* ARPUの定義：マンガコンテンツ事業のto C収益（広告、課金、IP収益など）/MAU



※FY2017/1Qの収益を100として指数化







両社（セプターニグループ及び電通グループ）の連携により、

多様な才能を持った人材が集う働きがいあふれる組織環境を基盤として

顧客に対して最も優れたソリューションを提供することで業界の発展を牽引する、

国内最大のデジタルマーケティングパートナーになることを目指す

両社における専門性の違い・強みを活かし、短期・中期での施策を通じたシナジー創出により顧客に提供する付加価値を向上させる



SEPTENI

短期・中期的施策群

dentsu

当社から電通グループへ
デジタルマーケティング事業の
ナレッジ、テクノロジーの提供

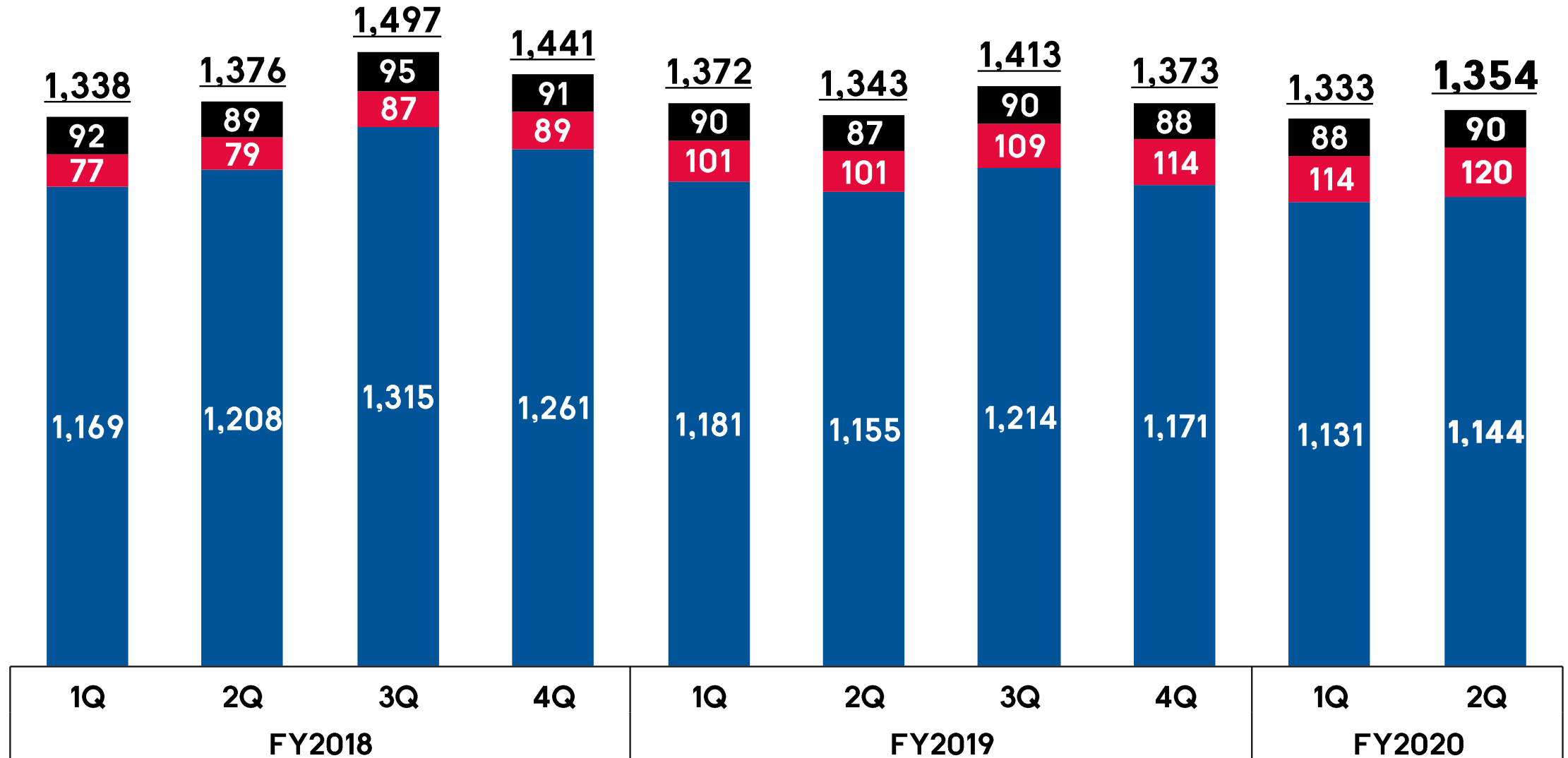
GANMA! を中心とした
当社メディアやプロダクトの
電通グループによる販売

電通グループが取り扱う
デジタルマーケティング案件の
広告運用を当社より支援

両社が保有する
データ資産の相互活用

両社の顧客基盤を活用した
オンライン/オフライン広告の
統合マーケティング提案

■ デジタルマーケティング事業
 ■ メディアプラットフォーム事業
 ■ 持株会社 (単位: 名)
 ※FY2019/4QにLion & Lion社の構造改革により47名が退職



会 社 名	株式会社セプテーニ・ホールディングス
代 表 者	代表取締役 グループ社長執行役員 佐藤 光紀
所 在 地	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
証 券 コ ー ド	4293 (JASDAQ)
事 業 内 容	インターネット事業を中心に事業展開する企業グループを統括する持株会社
設 立 日	1990年10月29日
資 本 金	2,125百万円
発 行 済 株 式 数	138,916,500株 (うち自己株式10,724,240株) ※
連 結 従 業 員 数	1,354名 (従業員) うち1,129名 (正社員)

※役員報酬BIP (Board Incentive Plan) 信託が保有する当社株式1,739,200株は含んでおりません。

純粋持株会社
セプテーニ・ホールディングス
デジタルマーケティング事業

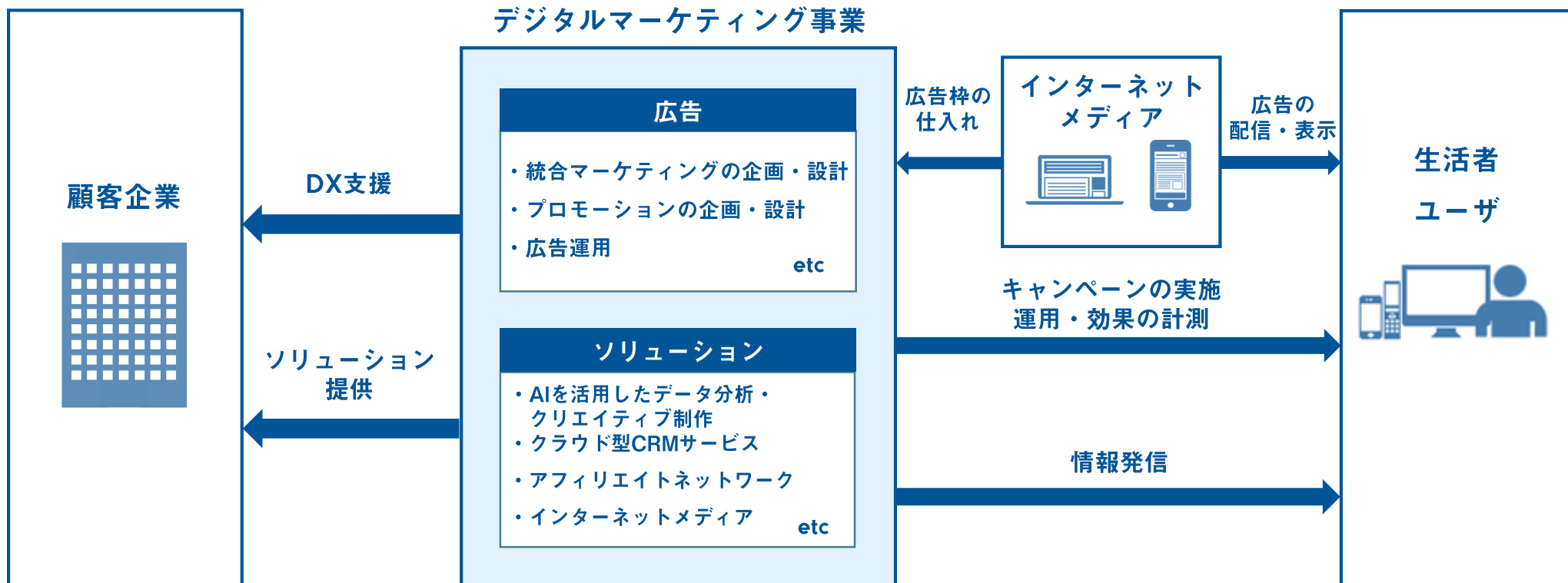
セプテーニ	デジタルマーケティング支援事業	Septeni Japan	デジタルマーケティング支援事業
MANGO	運用型デジタル広告オペレーション事業	ハイスコア	デジタルマーケティング支援事業
セプテーニ・オリジナル	ウェブサービスなどの企画・開発	Septeni Ad Creative	インターネット広告クリエイティブの企画・制作
セプテーニ・クロスゲート	アドネットワーク、プラットフォーム事業	トライコーン	CRMサービス事業
Septeni Asia Pacific	アジア太平洋地域におけるデジタルマーケティング支援事業	Septeni America	北米地域におけるデジタルマーケティング支援事業
七域広告	中国におけるデジタルマーケティング支援事業	SEPTENI TECHNOLOGY	ウェブサービスなどの企画、開発
JNJ INTERACTIVE	韓国におけるデジタルマーケティング支援事業	Lion Digital Global	東南アジア地域におけるデジタルマーケティング支援事業

メディアプラットフォーム事業

コミックスマート	マンガコンテンツ事業	gooddo	社会貢献プラットフォーム事業
ビビビット	採用プラットフォーム事業	Pharmarket	医療プラットフォーム事業
TowaStela	育児プラットフォーム事業	デライトチューブ	インターネットメディアの企画、制作、運営
HEDGEHOG PRODUCTS	アプリ・広告プロダクト開発		

新規事業開発
セプテーニ・ベンチャーズ

デジタル広告の販売と運用をはじめ、データ、AIを活用したソリューションの提供、電通グループとの提携によるオンライン・オフライン統合によるマーケティング支援等、デジタルマーケティングを中心として、**企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）の総合的な支援**を行う。



「マンガコンテンツ事業」では、**自社IP(知的財産)の企画・開発**を目的にマンガ家の育成・支援を手がけるとともに、専属作家によるオリジナル作品を中心に構成されたマンガアプリ「GANMA!」を**自社メディア**として運営。

その他に、社内ベンチャーから生まれた新規事業として、「採用」「社会貢献」「医療」「育児」に関するプラットフォーム型の事業等を展開。



(単位：百万円)	2020年9月期 2Q末	2019年9月期 期末	増減	主な変動
流動資産合計	24,985	25,133	△148	その他の流動資産△203
非流動資産合計	7,273	5,280	+1,994	その他の金融資産 +589 使用権資産 +1,363※
資産合計	32,258	30,413	+1,846	
流動負債合計	13,084	11,729	+1,355	営業債務 +444 その他の金融負債 +748※
非流動負債合計	4,007	3,875	+132	その他の金融負債 +94※
負債合計	17,090	15,604	+1,487	
資本合計	15,168	14,809	+359	利益剰余金 +452
負債及び資本合計	32,258	30,413	+1,846	

※ 2020年9月期よりIFRS16（リース会計基準）の適用に伴い、将来において支払うべき賃借料等を、資産の部における使用権資産、負債の部におけるその他の金融負債として計上

(単位：百万円)	2020年 9月期 2Q (10-3月)	主な内訳	2019年 9月期 2Q (10-3月)
営業活動による キャッシュ・フロー	468	減価償却費及び償却費+383※ 持分法による投資損益△443 営業債権の増加△275 法人所得税の還付額△341	1,288
投資活動による キャッシュ・フロー	△626	有価証券の取得による支出△580	△227
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,093	短期借入金の返済による支出+308 リース負債の返済による支出△414※	△969
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△1		△35
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△1,253		58
現金及び現金同等物の 期末残高	13,235		14,980

※IFRS16 (リース会計基準) の適用に伴う影響